

2023年度
登別市デンマーク友好都市
中学生派遣交流事業
研修報告書



目次

○登別市デンマーク友好都市中学生派遣交流事業の概要・・・・・・・・・・	1
・事業概要	
・研修日程表	
・派遣生徒・引率者・ホストファミリー名簿	
・派遣日程表	
・各学校独自の取組について	
○研修テーマ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	8
デンマークの歴史について	
登別市立緑陽中学校	1年 宮崎 葵生
デンマークと日本	
登別市立緑陽中学校	3年 皆川 恵子
今のデンマークの流行	
登別市立緑陽中学校	3年 中村 留唯
デンマークの食べ物	
登別市立緑陽中学校	3年 多田 美月
デンマークの建物について	
登別市立鷺別中学校	3年 佐藤 璃空
日本の学校との違いについて	
登別市立鷺別中学校	3年 相澤 仁湖
デンマークの家庭のペット	
登別市立鷺別中学校	3年 菊地 奏多
デンマークのアートとデザインについて	
北海道登別明日中等教育学校	1回生 山口 いのり
日本とデンマークの食文化の違いについて	
北海道登別明日中等教育学校	2回生 竹田 耕太郎

○感想文・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 27

宮崎 葵生：デンマークはいいところがいっぱい

皆川 恵子：楽しかったデンマーク！

中村 留唯：素晴らしい思い出

多田 美月：私の思い出

佐藤 璃空：15年間の人生の大きな一歩

相澤 仁湖：デンマーク研修を通して

菊地 奏多：デンマーク人との交流と学び

山口いのり：コミュニケーションが大事！

竹田 耕太郎：最高の思い出

○引率者報告書・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 46

団 長：秋葉 洋範 登別市教育委員会教育部学校教育グループ学務主幹

引率者：舘崎 美久 登別市立鷺別中学校教諭

○帰国報告会資料[派遣生徒]・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 54

○帰国報告会資料[引率者]・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 145

○帰国報告会資料[イベント]・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 159

○友好都市協定書

事業概要



2023.6.30 結団式にて

○ 事業概要

1 目的

登別市の中学生を友好都市のデンマーク王国ファボー・ミッドフュン市に派遣し、青少年との交流や日本とは異なる生活・文化の体験を通じ、生徒の豊かな人間性と広い視野を育むとともに、ファボー・ミッドフュン市との交流を推進することを目的とする。

2 訪問国及び都市

デンマーク王国：コペンハーゲン市、オーデンセ市、
ファボー・ミッドフュン市

3 派遣期間

2023年8月7日（月）～ 15日（火）：8泊9日

4 交流内容

表敬訪問：ファボー・ミッドフュン市役所

学校訪問：リングフリー校

施設見学：アンデルセン博物館、レゴランド、イーエスコー城、
森の幼稚園、高齢者住宅施設、図書館 等

5 研修内容

(1)結 団 式：2023年6月30日（金）

(2)事前研修：2023年7月3日（月）～8月4日（金）計10回
デンマーク王国の概要の学習、研修テーマの決定、
英会話、デンマーク語、登別の紹介・歌・踊りの練習、
デンマーク人一家との交流、派遣者懇談会など

〔派遣者懇談会（第8回事前研修）講師〕

前回派遣者：土門 和宏〔R1年度：団長〕

吉井 真裕〔R1年度：引率英語教諭〕

寺沢 美柚〔R1年度：登別市立幌別中学校〕

船田 清夏〔R1年度：登別市立登別中学校〕

滝沢 恵生〔R1年度：登別市立緑陽中学校〕

〔保護者懇談会（第8回事前研修）出席者〕

前回派遣保護者：船田さん、寺沢さん

今年度保護者：皆川さん、中村さん、相澤さん、菊地さん、
佐藤さん、竹田さん、多田さん、宮崎さん

(3)事後研修：2023年8月23日（水）～ 9月27日（水）計5回
研修成果まとめ、感想文提出、帰国報告会準備

(4)帰国報告会：2023年9月29日（金）

○ 研修日程表

月 日	内 容		会 場	時 間
06月30日(金)	結団式・第1回保護者説明会		市民会館/小会議室	18:00~19:30
07月03日(月)	事前研修①	デンマークの概要説明、 昨年の様子紹介、リーダーの 決定、研修テーマ検討、 特技披露検討	市民会館/視聴覚室	16:30~18:00
07月05日(水)	事前研修②	研修テーマ決定、アトラク ション担当パート決定、 英語・デンマーク語レッス ン	市民会館/視聴覚室	16:30~18:00
07月10日(月)	事前研修③	英語・デンマーク語レッス ン、アトラクション練習 (英語ボランティア1名参加)	市民会館/視聴覚室	16:30~18:00
07月18日(火)	事前研修④	デンマークより ランディさん一家との交流	市民会館/視聴覚室	16:30~18:00
07月24日(月)	事前研修⑤	英語・アトラクション練習 (英語ボランティア2名参加)	市民会館/視聴覚室	16:30~18:00
07月26日(水)	事前研修⑥	英語・アトラクション練習	市民会館/視聴覚室	16:30~18:00
07月28日(金)	事前研修⑦	英語・アトラクション練習 (ALT 参加)	市民会館/視聴覚室	09:30~12:00
07月29日(土)	事前研修⑧	派遣者懇談会	市民会館/視聴覚室	09:30~12:00
07月31日(月)	第2回保護者説明会 (保護者)		市役所/第二委員会室	18:00~19:00
08月01日(火)	事前研修⑨	英語・アトラクション練習 (ALT 参加)	市民会館/視聴覚室	09:30~12:00
08月04日(金)	事前研修⑩	総練習、最終打合せ	市民会館/視聴覚室	09:30~12:00
08月07日(月)	市長へ出発挨拶 (派遣者)		市役所/市長応接室	13:00~13:30
同日	デンマークへ出発		市役所/裏駐車場	14:00~
08月15日(火)	デンマークから帰国		市役所/裏駐車場	20:00頃
08月22日(火)	市長へ帰国挨拶 (派遣者)		市役所/市長応接室	16:30~17:00
08月30日(水)	事後研修①	報告書作成	市民会館/視聴覚室	16:30~18:00
09月08日(金)	事後研修②	報告書作成	市民会館/視聴覚室	16:30~18:00
09月13日(水)	事後研修③	報告書作成・帰国報告会準備	市民会館/視聴覚室	16:30~18:00
09月19日(火)	事後研修④	報告書作成・帰国報告会準備	市民会館/視聴覚室	16:30~18:00
09月27日(水)	事後研修⑤	帰国報告会リハーサル	市民会館/大会議室	16:30~18:00
09月29日(金)	帰国報告会		市民会館/大会議室	18:00~19:30

○ 派遣生徒・引率者名簿

学 校 名	学 年	生 徒 名
登別市立緑陽中学校	1年生	宮崎 葵生
登別市立緑陽中学校	3年生	皆川 恵子
登別市立緑陽中学校	3年生	中村 留唯
登別市立緑陽中学校	3年生	多田 美月
登別市立鷺別中学校	3年生	佐藤 璃空
登別市立鷺別中学校	3年生	相澤 仁湖
登別市立鷺別中学校	3年生	菊地 奏多
北海道登別明日中等教育学校	1回生	山口 いのり
北海道登別明日中等教育学校	2回生	竹田 耕太朗

引率者	団 長	登別市教育委員会 教育部 学校教育グループ 学務主幹	秋葉 洋範
	引率教諭	登別市立鷺別中学校	舘崎 美久

○ ホストファミリー名簿

派遣者名	ホスト名（7学年生徒）	性別	家族構成
宮崎 葵生	Viktor Hildebrand Johansen ヴィクト ヒレブラン ヨハンスン	男	父 レニ 母 ティーネ 姉 セリーン
菊地 奏多			
皆川 恵子	Sabine Vever ザビーネ ヴィーヴァ	女	父 ブリーアン 母 ヘンリエデ
山口 いのり			
中村 留唯	Ida Ellegaard Kjeldsen イーダ エレゴール ケルスン	女	父 セーアン 母 リーネ 兄 スヴェン 姉 ローサ
多田 美月	Anna Nova Ankjær アナ ノヴァ アンカ	女	父 ダニ 母 スティーネ 弟 エーダム
佐藤 璃空	Laurits Brink Hansen ラウリツ ブレンク ハンスン	男	父 ミーケル 母 リーネ 兄 オスカ
相澤 仁湖	Celina Nikita Osther Rasmussen セリーナ ニキータ オスタ ラスムスン	女	父 ミッケル 母 アニヤ 弟 マッティ
竹田 耕太郎	Asbjørn Hansen アスビョン ハンスン	男	父 トーベン 母 アネ
团长 秋葉 洋範 引率教諭 館崎 美久	Asbjørn Hansen アスビョン ハンスン	男	父 トーベン 母 アネ

○ 派遣日程表


日	行程	内容	食事	宿泊
1日目 8/7 (月)	市役所 ⇒ 新千歳空港 13:45 15:00 (バス発)	12:45 市役所裏玄関に集合 13:00 市長挨拶 13:45 市バスで新千歳空港へ 15:00 新千歳空港到着後、搭乗手続き		
	新千歳空港 ⇒ 羽田国際空港 17:10 18:45	17:10 国内線 JAL 便 [JL518]で羽田国際空港へ 18:45 羽田国際空港着後、出国手続き		
	羽田国際空港 ⇒ ヘルシンキ空港 21:50 04:40 (翌日着・現地時間)	21:50 フィンランド航空でヘルシンキ空港へ [AY062] 04:40 ヘルシンキ空港到着後、 ～乗り継ぎ～	機内食(夕)	機中
2日目 8/8 (火)	ヘルシンキ空港 ⇒ コペンハーゲン空港 07:25 08:05 (現地時間)	07:25 ヘルシンキ空港からコペンハーゲン空港へ[AY951] 08:05 コペンハーゲン空港到着後、入国手続き・荷物受取・ 税関、その後空港から駅へ徒歩移動		
	コペンハーゲン ⇒ コペンハーゲン 空港駅 中央駅 09:36 09:49	09:36 列車でコペンハーゲン中央駅へ(所要約20分) [R1041] 09:49 コペンハーゲン中央駅到着	派遣交流団 (朝・昼)	
	コペンハーゲン中央駅 ⇒ オーデンセ駅 10:29 12:04	10:29 列車でオーデンセ駅へ(所要約90分) [IC-839] 12:04 オーデンセ駅にてアネさんと合流		
	オーデンセ市内 オーデンセ駅 ⇒ リング駅 15:46 16:06	現地協力者アネさんの引率でオーデンセ市内を徒歩で見学 15:46 列車(2等車)に乗車、リング駅へ 16:06 リング駅到着、ホストファミリーと対面し、各家庭へ	ホスト(夜)	ホーム ステイ
3日目 8/9 (水)	ファボー・ミッドフュン市内	<ul style="list-style-type: none"> ・ホストファミリーと過ごす ・ファボーミッドフュン市長訪問 ・森の幼稚園訪問 ・リングフリー校授業参加等 ・ノーアエア校 ・イーエスコー城 ・レゴランド見学 ・リングフリー校にてお別れパーティ 	ホスト	ホーム ステイ
4日目 8/10 (木)				
5日目 8/11 (金)				
6日目 8/12 (土)				
7日目 8/13 (日)	ホスト宅 ⇒ リング駅 09:00 09:00	それぞれホストファミリー宅からリング駅へ向かう 09:00 リング駅集合	ホスト(朝)	
	リング駅 ⇒ オーデンセ駅 09:29 09:46	09:29 現地の方々とお別れをし、列車にてオーデンセ駅へ 09:46 オーデンセ駅着		
	オーデンセ駅 ⇒ コペンハーゲン中央駅 09:53 11:03	09:53 列車(2等車)に乗車、コペンハーゲン中央駅へ[IC-22] 11:03 コペンハーゲン中央駅到着		
	コペンハーゲン中央駅 ⇒ ホテルへ 11:03 11:15	11:03 駅からホテルへ徒歩移動 11:15 ホテルで荷物を預かってもらう	派遣交流団 (昼・夜)	
	コペンハーゲン市内を視察 18:00 ホテルへ	コペンハーゲン市内を視察 18:00 ホテルチェックイン		ホテル
8日目 8/14 (月)	ホテル ⇒ コペンハーゲン中央駅 09:20 09:30	09:20 ホテルチェックアウト コペンハーゲン中央駅へ徒歩移動	ホテル(朝)	
	コペンハーゲン ⇒ コペンハーゲン 中央駅 空港駅 09:47 10:00	09:47 列車[R1047]でコペンハーゲン空港駅へ 10:00 コペンハーゲン空港駅到着後、空港まで徒歩移動。 出国手続き。	派遣交流団 (昼)	
	コペンハーゲン空港 ⇒ ヘルシンキ空港 13:25 15:55	13:25 フィンランド航空[AY954]でヘルシンキ空港へ ヘルシンキ空港着 ～乗り継ぎ～ 18:30 フィンランド航空[AY061]で羽田国際空港へ (日付変更線) 13:50 羽田国際空港到着 入国手続き、入国審査、税関等	機内食 (夕・朝)	機中
9日目 8/15 (火)	羽田国際空港 ⇒ 新千歳空港 16:30 18:05	16:30 国内線 JAL 便 [JL523] 18:05 新千歳空港着、荷物受取り後、市バスに乗車	派遣交流団 (昼)	
	新千歳空港 ⇒ 登別市役所 19:00 20:15	19:00 市バスで市役所へ 20:15 登別市役所到着、解散		自宅

※時差 デンマーク王国⇒日本のマイナス7時間

○ 各学校独自の取組について

デンマーク王国での貴重な体験を通して、生徒が現地で学んだことや感じたことを同世代の生徒に発表する場を設けていただき、国際性豊かな人材の育成や本事業のPRに寄与していただきました。

学校名	学年	生徒名
登別市立緑陽中学校	1年生	宮崎 葵生
	3年生	皆川 恵子
	3年生	中村 留唯
	3年生	多田 美月
【取組内容】		
予定なし		

学校名	学年	生徒名
登別市立鷺別中学校	3年生	佐藤 璃空
	3年生	相澤 仁湖
	3年生	菊地 奏多
【取組内容】		
<p>⇒9月15日（金）学校祭開祭式の中で15分の発表時間を確保し、3人が全校生徒へ向けてパワーポイントを使ってデンマーク派遣の貴重な経験報告を行った。また、8月号の学校だより「鷺中」に派遣事業へ行ってきた報告とともに報告会を行う紹介を掲載し案内した。</p>		
		学校祭開祭式で報告発表の様子
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>登別市デンマーク友好都市 中学生派遣事業 8.7-15</p> <p>市の事業に応募し、本校から3名（3年相澤仁湖さん、菊地奏多くん、佐藤璃空くん）の生徒が参加してきました。また、派遣団の引率者として本校館崎教諭も同行しました。9月15日(金)の学校祭の開祭式にて研修成果の発表を行います。ぜひ来校いただき、お聴きいただければ幸いです。</p> </div>		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>派遣事業へ行ってきた報告と報告会のお知らせ内容を学校だよりで掲載 ←学校だよりに掲載した内容</p> </div>

学校名	学年	生徒名
北海道登別明日中等教育学校	1回生	山口 いのり
	2回生	竹田 耕太郎
【取組内容】		
⇒校内の全校集会において、デンマーク派遣の報告を実施予定。（12月中）		

研修テーマ



2023.8.7 デンマーク出発日 市長挨拶にて

デンマークの歴史について

登別市立緑陽中学校 1 年生 宮崎 葵生

僕は、「デンマークの歴史」について調べました。

右の写真はイーエスコウ城です。古城は 1554 年に建てられました。建設されてから 400 年以上経過しているいろんな家族が城に住んだようです。1967 年にクラシックカー博物館がオープンしたそうです。宴会場は 1975 年に修復されたそうです。1986 年以来、ホールや他の多くの部屋はシーズンをとおして毎日一般に公開されているそうです。そしてお城に入ると元城主の絵画がありました。



ちなみにデンマークの K・B くんが城のうえの人形を取ると城が崩れるという噂があると言っていました。



次はアンデルセンです。アンデルセンは 1804 年 4 月 2 日、フン島のオーデンセで生まれました。彼の家は貧しかったようで 1 つの部屋で寝ていたそうです。アンデルセンは、切り紙が好きで切り紙のついた本などを親戚の小さい子などに誕生日プレゼントとしてあげていたそうです。

父親は、1816 年に亡くなったそうです。1818 年には母親が再婚しました。

アンデルセンはソプラノボイスだったり、よく大聖堂で歌ったりしていたそうです。

オペラ歌手になろうとして 1819 年コペンハーゲンに行ったそうです。その後いろんな作品を出版したそうです。そして 70 歳のときに亡くなったそうです。

気になっていたヴァイキングはデンマークにいたそうです。しかもデンマークの人の大半のご先祖様はヴァイキングだそうです。デンマークのV・Jさんにデンマークの有名なキャラクターは？ときいたら、ヴァイキングを描いてくれました。



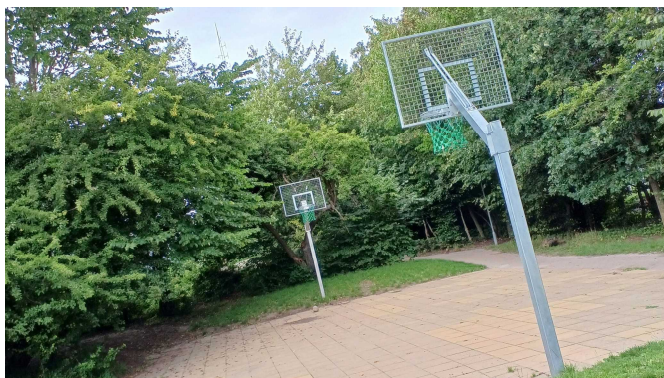
デンマークと日本

登別市立緑陽中学校 3年生 皆川 恵子

今回、デンマークに行ったおかげで、インターネットで調べても出てこない日本との違いをたくさん見つけることができました。

皆さんは、学校の休憩時間をもっと自由にしてほしいと思ったことはありませんか？

リングフリー校では、休憩時間にバスケットやサッカーをすることが可能です。私の学校では校庭にバスケットコートは無く、休憩時間の短さでは、遊ぶことができません。このように、リングフリー校と私の学校を比べると、勉強でのストレスを少なくする環境づくりをしているのが分かります。



私の学校もこのように休憩時間を自由にすることによって、授業の50分間を集中して受けられるのではないかと考えます。

リングフリー校では、始業式の夜に学校の校庭に全校生徒とその家族が料理を持って集まり、それぞれでご飯を食べます。

そしてリングフリー校に通っている生徒やその家族はコミュニケーション能力がとても高いと思います。それは、先程あげたように、学校でご飯を一緒に食べることなどによって出来た関わりが関係していると私は考えます。また、休憩時間に低学年の子と一緒に遊んだりするなどもコミュニケーション能力が高いのに関係してくるのではないかと考えられます。

次に、ホームステイ先での食と飲み物のことです。朝ごはんは、毎日パンでジャムをつけて食べます。夜ごはんはピザやバーベキュー、他にもそうめんなども出てきました。しかし、ご飯が全然出ないので日本米が恋しくなりました。



飲み物も大体、水かジュースで麦茶などのお茶はありませんでした。こういった食や飲み物での違いもありました。

それぞれの国で良い所もたくさんあり、日本とデンマークでの違いもたくさんありました。



今のデンマークの流行

登別市立緑陽中学校3年生 中村 留唯

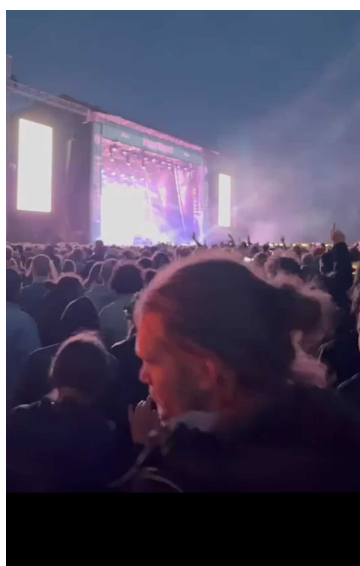
私は、今回の派遣でいろんなことに驚きました。日本ではありえない、町にトランポリンがあることや、夜の9時頃まで外が明るく、みんなで外で遊べることに驚きました。

私は今回、デンマークの流行について調べました。研修テーマにしたきっかけは、日本の流行と違いがあるのか調べたかったからです。デンマークでも、日本と同じようなものが流行っているのか、それとも他のものが流行っているのか、知りたかったからです。研修テーマについては、ホームステイ先のイーダという子やその子のお姉さんに聞いたり、他の家の子と話したりしました。

調べた一つ目はファッションです。デンマークでは、夏だからタンクトップやシースルーのシャツなどの肌を出す、涼しげな服が流行だと聞きました。

また、カーゴパンツも流行っています。実際に日本や他の国でも人気のパンツで、共感できました。

二つ目はご飯です。デンマークではお米ではなく、ほとんどパンでした。夜は、お肉（主に豚肉）がよく食事に出てきていた印象です。また、野菜を多く食べます。野菜とチーズ料理のスクワッシュなどを食べていました。



最後は音楽です。デンマークでは、アンドレアスというデンマーク出身のアーティストの方が流行っていて、ライブもよく開催されています。私がホームステイをしたイーダの家族は、家族みんなでアンドレアスさんのライブに行っていました。また、日本と同じようにK-POPも流行っていて、BTS、ブラックピンク、ストレイキッズなど、たくさんのグループが人気だと分かりました。

今回の派遣でデンマークと日本の流行は少し近いところもあるなと思いました。これからはもっと現地の人と話して、どんどん海外を経験していけたらいいなと思いました。



デンマークの食べ物

登別市立緑陽中学校3年生 多田 美月

今回の研修では、デンマークの食について調べてきました。事前研修で野菜を生のまま食べると聞いていて、どのような食文化をしているのだろうと気になり、このテーマにしました。

まず朝ご飯は、トーストが主に出てきました。トーストには、ハチミツ、プラムジャム、マーガリン、チョコレートの中から選び、自由にぬって食べます。

デンマークの人々はりんごやプラムの木が家にたくさんあり、とても水々しく、おいしかったです。

次にデンマークの伝統的な料理を紹介します。右の写真を見てください。こちらは、ミートボール、赤キャベツ、ジャガイモ、グレービーソース添えて、ジャガイモのブラウンソースとフィッシュボールとレッドキャベツです。



左の写真はローストウサギにポテトとグレービー添えて、ジャガイモにブラウンソース、赤キャベツ、サツマイモ、野菜、ローストウサギです。

次のページの写真は、ローストポーク、レッドキャベツ、ポテトとグレービー添えて、ジャガイモのブラウンソース添えと豚肉とサラダで、クリスマスイブに食べるものだそうです。

このことから、デンマークの人々は豚肉、ジャガイモのブラウンソース和え、赤キャベツ、他にも野菜、また、鴨肉とポテトチップスをよく食べているそうです。

それだけでなくデンマークでは、イタリアのピザや日本の寿司など、他の国の食べ物もたくさん食べるそうです。

このようにわたしたちが日々食べている日本食は、デンマークでもとても人気なのです。



デンマークの建物について

登別市立鷺別中学校 3年生 佐藤 璃空

今回の研修では、デンマークの建物について素材や大きさ、日本との違いなどの観点から研修をしてきました。ホストファミリーのお父さんが大工だったので、滞在した家の色々なことを聞くことができました。

まず最初に、素材についてです。外壁には、石やレンガが使用されていました。内装にも石やレンガが使われていると思っていましたが、木が使われていて想像と違い、とても驚きました。家の内装はホストのお父さんが作ったそうです。

玄関に入ると、日本のような段差が無く、靴をどこで脱ぐのかが分かりづらかったです。屋根には日本の瓦のような形のものが使われていました。不思議なところで日本との繋がりを感しました。



次に家の大きさについてです。僕がホームステイした家やその周辺にある家は、すべてとても大きくて、僕が住んでいる家の1.5倍ぐらいありました。家の面積と同じ位の芝生の庭があり、トランポリンやプールもありました。ホストのお父さんに「何故、家の敷地がこんなにも広いのですか?」「何故、2階がないのですか?」と聞いたら、「リングは人口が少なく面積が広いからだよ。2階は必要ないからだよ。」と教えてくれました。これ



だけ広いなら必要ないなと思うと同時に少し、驚きました。

建物からは少しずれますが、日本と違って電柱や電線が地下に埋まっているので、街や道がとてもスッキリしていて広く感じられました。

デンマークの建物は、どれを見ても日本とは違って一つひとつに歴史があり、芸術作品のように見えました。最初は「石で作られた家か、面白そうだな」位にしか思っていませんでしたが、実際に見てみると、とても迫力があり、ずっと見ていられました。いつか大人になったら、デンマークに行き、街をゆったりと散策したいです。

デンマークへの派遣は、一生の思い出とも言えるとても貴重な体験になりました。



日本の学校との違い

登別市立鷺別中学校3年生 相澤 仁湖

私は、日本の学校とデンマークの学校の違いに興味をもち、研修を行いました。私たちが行ったリングフリー校には、6才から16才までの子ども達が通っています。登校時間は8時で6～7時間授業を受けた後、3時頃に下校するのでだいたい日本と変わらないです。

教室はこのようになっています。教室のイスは高さが調節でき、机は木ではなくプラスチックですごく高いものでした。

私達が受けた授業はドイツ語の授業です。デンマークとドイツは近い国同士なのでドイツ語の勉強もしているそうです。実際にみんなと問題を解いたりしましたが、ドイツ語は主語によって動詞の形



が変化するので私はとても難しいイメージがありました。休み時間には、スマホの使用や、飲食も自由にできることなどから、教室にいてもあまり重苦しさは感じませんでした。このような点で日本の学校との違いを感じました。



そして、私が一番驚いたのは、子どもたちが楽しめる設備がたくさんそろっていたことです。学校の敷地内には写真のような日本では見たことのない遊具がたくさんそろっていました。体育館は私の学校の2倍程あり、そこに巨大なトランポリンや、トレーニングルームなど色々な物がそろっています。わたしたちも実際にトランポリンで一回転などしてたくさん遊びました。日本ではお金を払わないとできないようなことを学校でできると思うとすごくうらやましかったです。

このようにリングフリー校は日本よりも全体的に自由な明るい雰囲気、一人ひとりがのびのびと成長できる環境が整っている学校だなと感じました。機会があれば、またぜひ行きたいです。



デンマークの家庭のペット

登別市立鷺別中学校3年生 菊地 奏多

僕は、研修テーマでデンマークで飼われている家庭のペットについて調べました。

デンマークの街中でペットを連れて散歩しているのを自分の行動しているはんい内で見ると、犬を飼っている人が多かったです。犬種は、大型犬が多く、小型犬が大型犬より少なかったです。大型犬では、日本でもみたことのある犬が少なからずいました。

その犬種名で印象的だったのが、多分皆さんも聞いたことのあるゴールデン・レトリバーという犬です。他にも、同じような犬種を飼っている人がたくさんいました。

小型犬では、トイプードルやマルチーズ等、他にも色々な犬種を飼っている人がいました。とても可愛かったです。



家庭のペットで驚いた事がありました。それは、柴犬が飼われている事です。なぜその事に驚いたのかというと、柴犬は日本固有の犬で、日本では人気の高い犬とされています。海外ではそれは飼われていないと思っていたからです。また、海外に行く事がなかったから知りませんでした。



もう一つ驚いたことがあり、それは猫を（ノラも含めて）全く見かけなかった事です。

ホームステイ先の子の友達が飼っていたペットは兎です。その友達の名前はビクトーです。ビクトーはその兎をボニーと読んでいました。僕はジェスチャーで、ボニーを抱かせてくれるのかを聞きました。ビクトー君は「OK」と行って、抱かせてくれました。それはとてもモフモフで可愛かったです。

デンマークに行ってホームステイする事は僕にとって初体験でした。

またデンマークに行く機会があったら、自分で調べたいテーマを決めて行こうと思いました。



デンマークのアートとデザインについて

登別明日中等教育学校 1 回生 山口 いのり

私は、デンマークへ行きアートやデザインについて学んできました。デンマークは日本よりも独特でカラフルなものが多いと感じました。

一つ目は、街並みです。日本では、灰色、黒、白などのシンプルな色の建物が一般的ですがデンマークの首都である、コペンハーゲンでは、虹色が使われている建物が多かったです。例えばコンビニのセブンイレブンの色が虹色だったりしていました。

二つ目は、城です。イーエスコー城という城に見学に行きました。この城をモデルとして登別マリパークニクス城が建てられています。中に入ってみると、鹿の頭や、実際に使われていた矢などがありました。その時代にいるかのように感じられるくらいリアルに作られていて驚きました。そしてデンマークにはたくさん城があり、昔の日本とは違う戦い方だったのかなと感じました。



三つ目は、配慮です。幼稚園に訪問した時に、ドアノブが高い位置にありました。子ども達が自分で外に出られないような工夫がありました。子ども達のことを考えて設計されていて良いと思いました。

そして、AEDという心臓が止まってしまった人を助けるものもありました。AEDが置かれている場所が外でした。日本では室内にあることが多いです。外にある理由は、たおれてしまった人をすぐに助けられるからだと思いました。たしかに室内に置かれていたら取りに行くのに時間がかかってしまうなど納得しました。

ちなみに、このAEDの色は緑でした。普通は赤などなのになぜなのかと疑問をもちました。

研修テーマでは、個性的なアートやデザインだったのですが、使いやすさが重視されているなど感じる事ができました。そしてアートやデザイン以外にもたくさんのお話を学びました。

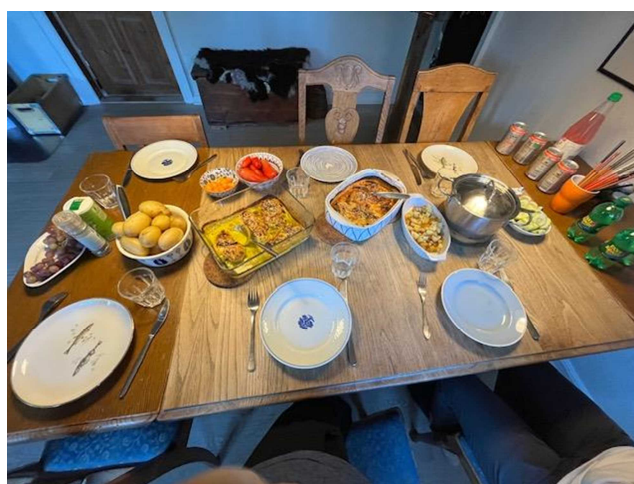


日本とデンマークの食文化の違いについて

登別明日中等教育学校 2 回生 竹田 耕太朗

今回の研修で私は、デンマークと日本の食文化の違いについてをテーマにし、研修を進めました。

まずは、朝・昼・夜の食事についてです。朝食はパンやコーンフレーク、ゆでたまごなどが出ました。私の家庭だけかもしれませんが、朝食は毎回パンが出ていました。昼食はお弁当でした。日本のお弁当とは違い、サンドイッチとにんじんやきゅうり 1 本まるごと入っていました。私は野菜が苦手なので少し困りました。夜ご飯はミニハンバーグやとり肉、トマトやじゃがいもが出ました。日本ではお米を炊いてご飯を食べることがとても多いと思います。ですが、デンマークでは玄米を使ったおかゆのようなものは出ましたが、白米は一回も出ませんでした。また、まれに夜食（夜 8 時～10 時）が出ました。フレークやココアパフを食べました。



学校の始業式があったときは、パーティをしました。その日の夜にホストファミリーがパーティであまった大きなホールケーキを出してくれました。そのケーキは今まで食べたことがないくらい甘かったです。



次に飲み物についてです。デンマークはとにかく炭酸水が多かったです。水かと思って買ったものが炭酸水でびっくりしました。デンマーク限定の飲み物もあり、「FAXE KONDE」と言って三ツ矢サイダーみたいなものでした。今回の研修で炭酸に少し強くなりました。

最後にお菓子です。有名なものは「ラクリス」です。デンマークなど北欧に多いもので独特な味でした。私は苦手でしたが、学校であげるとみんなおいしいと言っていました。

今回の研修は本当に楽しく、良い経験になりました。またデンマークに行きたいです。



感想文



デンマーク王国 コペンハーゲン ニューハウンにて

デンマークはいいところがいっぱい

登別市立緑陽中学校 1年 宮崎 葵生

僕がデンマークに行って1番に思ったのは、みんなフレンドリーでとても話しやすく、いつも静かな人もいっぱいしゃべっていました。そこは日本と違っていいところだと思いました。あんまりしゃべれない人も行ってみたいと思います。デンマークの皆さんはとても気さくに話しかけてくれてしゃべりやすく、リングフリー校に行ったらみんなでいっぱいしゃべってました。そしてみんなで中休みになったらサッカーをしたりして楽しかったです。会話などは全然困らず、分からない時は分からないしぐさをすればグーグル翻訳で教えてくれました。しかも3日くらい経つとだいたい相手が何を言いたいのかわかってきます。なので何も心配りりませんでした。

次に良かったところは学校です。みんな楽しそうに勉強しているし学校は嫌い？と聞かれて一人しか手を上げませんでした。日本だったら学校は嫌い？と聞かれて手を挙げる人は大半だと思います。なぜデンマークは手を挙げる人が少ないのか、それはフレンドリーなどからの他学年との交流だと思います。中には学校でしか会えない人もいると思います。なので学校が楽しいと思えるのだと思います。

そもそもリングフリー校は休み時間も長く他学年とも交流が多くなるのだと思います。それが日本だと1学年上だと少し交流があるけど2学年上は部活の先輩や友達の兄や姉などとはしか交流がないと言う人が多いと思います。

結論的にぼくが言いたいことは日本だと怖いから先輩に声かけにくいとか後輩に嫌がられるかもなど考えてしまうかもしれないけど、デンマークは話してみようみたいな感じだと思います。そんなところを日本の常識にしたらいいと思います。



次は悪いところになりますが、まずリングはトイレなども綺麗で、タバコなどの吸い殻も落ちていませんでした。ですがコペンハーゲンの町中に行くと吸い殻や落書き更に鳩がいてみんな怖がっていました。その鳩は日本の鳩と違い凶暴そうでした。更にトイレは公共で色んな人が使うからとても汚かったです。

そして写真スポットでは写真撮りますかなど聞かれてその時はなんにも思わなかったけど、今考えるといつ取られてスマホやカメラがなくなってもおかしくなかったので、人が集まる場所ではカバンを前にしたりしたほうがいいと思いました。こんな事があったけど今回はスマホなくしたり駅を間違えたりもなく平和でした。



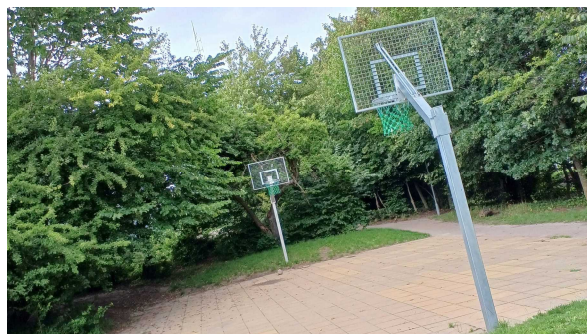
楽しかったデンマーク！

登別市立緑陽中学校 3年生 皆川 恵子

デンマークでは緊張して英語が聞き取れなかったり、英語が伝わらないなど辛いことがありました。しかし、日が経つにつれて英語に耳が慣れて聞き取れるようになり、相手に伝わることも多くなりました。

リングフリー校では、みんな挨拶してくれたり、手を振ってくれたりなどと、本当にみんな優しかったです。

そして、学校の中で印象的だったのは面積の広さです。校舎は小学生と中学生で分かれていて、体育館も離れていました。さらにバスケットコートやサッカーコート、ホールなどもありました。



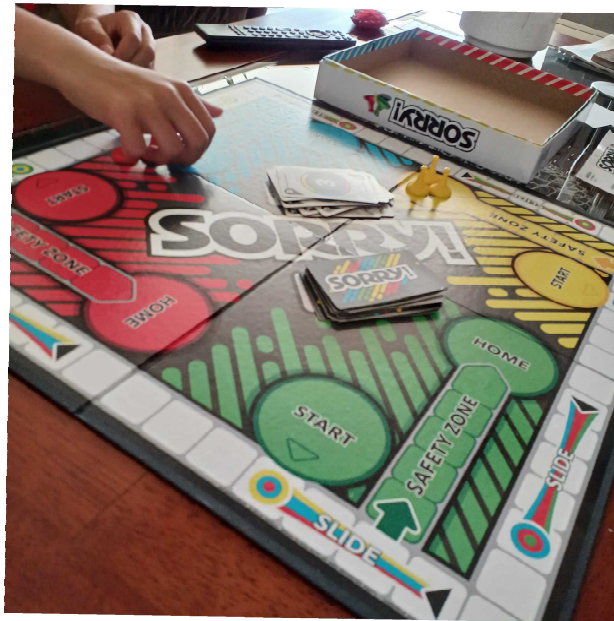
私は学校の中で気づいたことが1つありました。それは、土地が広かった分、建物の高さが低かったことです。私達の学校とは違って、大学のように校舎をいくつか作っていました。そのため、1階建ての校舎が2つありました。私が伺ったホームステイ先や近所の家、幼稚園なども土地が広く取られており、1階建てが多かったと思います。

ホームステイ先では、朝食はパンで、ホームステイ先のママ手作りのジャムをつけて食べました。夜ご飯では、1度だけそうめんが出ました。しかし、めんつゆではなくチリソースをかけて食べました。初めての食べ方だったけど、食べたら美味しくてたくさん食べてしまいました。ご飯以外ではゲームが楽しかったです。「SORRY！」という、ホームステイ先の人がよく家族で遊ぶというゲームと一緒にやりました。最初は何を言っているのか分からず、ルールを理解できませんでした。



しかし回数を重ねるごとにルールがだんだん分かってきて、最後には楽しく遊ぶことが出来ました。

最後に、デンマークに言って、挨拶をすること、時間を見て行動することが大切だと分かりました。デンマークのことについて楽しく学び、行く前より英語に興味を持つことができて、本当に行ってよかったと思うことが出来ました。



素晴らしい思い出

登別市立緑陽中学校3年生 中村 留唯

私は、今回、外国のホームステイを経験して、たくさん英語に触れる事ができ、英語に対する抵抗が完全にではないけれど消えました。逃げ場のない環境、日本語が使えないという環境でも日本と同じように生活ができました。

ドライヤーを使いたかったり、パンをもう一枚食べたいと思ったりしたときは、しっかりと英語で伝えることができました。いどこに手紙を出すことや、自分は何が好きか、どこのK-POPグループが好きかも話せました。また、ホームステイ先の犬と外で遊んだり、ご飯をあげたりしました。様々なことを英語で伝えられるようになったり、自分が分からない単語があったら調べるようになったりと色々な変化がありました。



私が、現地に行って驚いたことは、アミューズメントの規模が日本より大きすぎることです。レゴランドのジェットコースターは長さ、速さ、面白さが日本とスケールが違うなと思いました。お化け屋敷のアトラクションやウォータースライダーもありました。チボリ公園のアトラクションも日本にはないようなもので、縦回転しながら速いスピードで回るものや、とても高い空中ブランコなど、スリル満点のアトラクションばかりでした。



他にも学校や街の雰囲気にも驚きました。学校は日本と全く違って外にアスレチックがあったり、始業式の日みんなでパーティーをしたりしました。色んな人とコミュニケーションを取ることができるから、私はいいと思いました。街は、お店も家もほとんどレンガで作られていてとてもおしゃれで綺麗でした。

現地の人達はとても温かく、最初はいまいコミュニケーションを取れるか心配だったけど、本当に優しくかったです。また行きたいと思ったし、絶対に忘れられない思い出ができました。

現地でできた友達にまた会いに行きたいと強く思っています。



私の思い出

登別市立緑陽中学校 3年生 多田 美月

コペンハーゲンに着いたらまず、私たちはスターバックスに行きました。そこで初めて英語を使い、わたしたちの英語での生活が始まりました。そこからカフェに行きステイ先の友達とお昼ごはんを食べたり、インスタグラムを交換したりとたくさん交流をしました。ステイ先の家についてまずお土産の交換をして、そのお菓子を食べてたりゲームをしてとても楽しい時間を過ごしました。



森の幼稚園では英語が伝わらなく話すことができなくて、初めはすごく混乱しましたが、一緒に遊んでいくうちに言語など関係なく仲良くなり、たくさん遊び、笑い合えました。リングフリー校では、幼稚園の年から高校生までの人々がいてパソコンを使って技術の勉強をしていたりと難しそうなこともたくさん学んでいました。

デンマークの人々はとてもフレンドリーですぐに打ちとけることができました。デンマーク語を教えてもらったり、日本語を教えてあげたりと、それぞれの文化を交流しあい、たくさん新しいことが知れました。デンマークでは私たちが普段使っている LINE は使っておらず、スナップチャットやインスタグラムを交換し、今でもたくさん話しています。



私は将来客室乗務員になりたいという夢があり、今回のデンマーク研修は将来のために少しでも役に立ってくれたらいいなと思い申し込みをしました。たくさんの人たちと交流をし、私の中でとても良い思い出となりました。たった9日間でしたが、他校の友達やデンマークの友達もたくさんでき、本当に行ってよかったなと思いました。

来年、デンマークに行く人たちは、不安や心配の気持ちはあると思いますが、怖がらないで楽しんでほしいと思います。

今回の研修は私にとってとてもよい経験となりました。

いつかまた、みんなに会いに行きたいです。

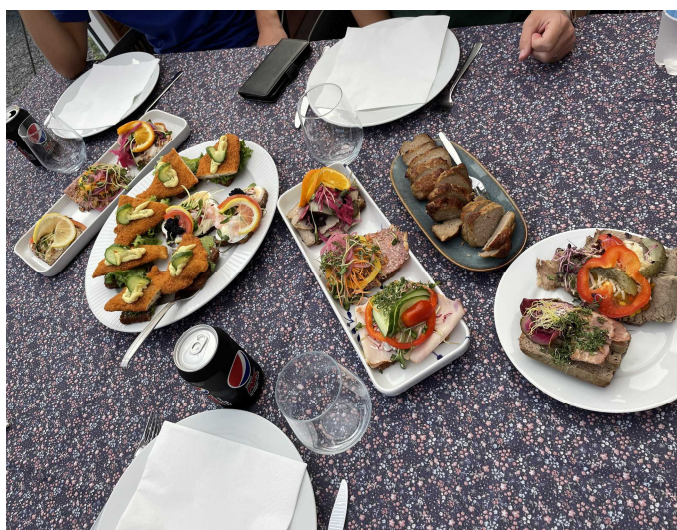


15年間の人生の大きな一歩

登別市立鷺別中学校3年生 佐藤 璃空

僕が中学生派遣交流団に参加しようと思った理由は、いつか海外に行けたらいいなあと思っていた時に、この事業の話を聞きました。異文化に触れ、異文化の日常で生活するチャンスは二度とないだろうと思い、行くことを決意しました。

一番心に残っていることは、ホストファミリーと過ごした日常生活すべてです。最初は「上手に話すことができるかなあ」と少し不安でしたが、初対面でその不安がすべて消えました。ホストファミリーはとても明るく親切で親しみやすかったです。その後の会話で段々と仲を深める事ができました。デンマーク初日の夕食がお米とカレーでした。美味しさとお米をだしてくれた優しさに驚き、写真をとることを忘れてしまいましたが、とても印象深かったのでカレーの味は忘れないと思います。この時に、僕が持参したみそ汁を作り、家族みんなに箸の使い方を伝えながら一緒に飲みました。お土産の中で一番、箸を喜んでくれました。日本の文化を伝える事ができたと思います。ラザニア、キャビアがのせてあるデンマーク伝統のオープンサンドなどホストマザーのご飯はとても上手で毎食楽しみでした。



仲良くなったリングフリー校の7年生と歩いたレゴランドも心に残っています。僕は一度もジェットコースターに乗ったことが無く、少し不安でしたが、楽しむことができました。ジェットコースターが垂直に落ちた時はかなり焦り、沢山叫んだので、乗り終わった時に皆から笑われました。それもいい思い出です。言葉が全部通じなくても仲良くなり打ち解けることができ嬉しかったです。

派遣交流事業に参加でき、とても良い経験になりました。積極的に英語で話しかけたり、人前で話す努力をしたり、友達もできました。日本と違う生活習慣、文化に触れて世界は広いし自分の知らない事が沢山あるんだなと改めて感じました。僕にとってプラスになることが多々あり、自分が一步成長できたと思います。



デンマーク研修を通して

登別市立鷺別中学校3年生 相澤 仁湖

私は今回のデンマーク研修を通して、人とコミュニケーションをとることの楽しさを知ることができました。初めはもちろん不安でいっぱいでしたが、ホームステイ先のセリーナのお陰でとても楽しく生活することができました。彼女は私より一つ年下ですが、気遣いがとても上手でいつも明るく、笑顔がとても可愛い子です。

そんなセリーナとの一番の思い出は、お互いの国の言葉をノートに書いて教え合ったことです。おはようや、ごちそう様、運転してくれてありがとうなど、全部で13個の言葉を教え合い、お互い一つずつテストしたりしてとても楽しかったです。デンマーク語には英語とは違う難しさがありましたが、慣れると意外に簡単です。ちなみにセリーナが一番苦戦していた日本語は「ウーパールーパー」です。上手く言えない自分が面白くてすごく笑っていたのが本当に可愛かったです。



そしてもう一つ、私が人と関わる楽しさを知る機会がありました。それは、現地の幼稚園に行ったことです。子ども達には初め怖がられていたけど笑顔で挨拶するとすぐに心をひらいてくれました。特に私になついてくれた男の子2人は、私にデンマーク語を教えてくれてとても可愛かったです。2人は、スコップや木、ポストなど近くにあるもの一つずつ笑顔で教えてくれたので私も一生懸命発音しました。私が言えると一緒に喜んでくれたりして本当に楽しい時間でした。

このようなことから私は、人と関わることの楽しさを知ると同時に、コミュニケーションをとるのに必要なのは言葉ではなく笑顔と伝えようとする気持ちだということが分かりました。

今回のデンマーク研修は、私に大きな影響を与えてくれたのでいつか必ずまた訪れたいです。



デンマーク人との交流と学び

登別市立鷺別中学校3年生 菊地 奏多

僕はデンマークに行ってリングフリー校での体験授業やマリパークのモデルとされたイーエスコー城、レゴランド等、様々な所に行って楽しかったです。

1番印象に残った事はレゴランドに行った事です。理由は、デンマークはレゴの発祥地であり、初めて行ったからです。森の幼稚園にも行きました。そこでは小さい子達と一緒に遊んだりしました。

僕は正直、外国の人と話すことは緊張しました。しかしデンマークの人はフレンドリーだったので、すぐに仲良くなり、サッカーをしてより仲が深まり、嬉しかったです。



僕は研修テーマでデンマークの家庭のペットについて調べました。なぜこのテーマにしたかという、動物が好きで、デンマークではどんな動物が飼われているのかという疑問が出てきたからです。

研修結果によると、犬を飼っている家庭が多く、色々な犬種があり、見たことのない犬種もありました。その中で驚いた事がありました。それは、柴犬がいた事です。理由は、柴犬は日本固有の犬で海外でも飼っているとは思わなかったからです。



また機会が合ったら、デンマークに行きたいです。今回は、本当にありがとうございました。僕達のために、デンマークの事を事前研修の時に教えてくれたり、実際にデンマークと一緒に行って、楽しんだり学んだりした事は一生忘れないです。

秋葉団長、あやなさん、他の皆さんも本当にありがとうございました。いつかまたお会いしましょう。

最後に、僕はこの研修を通して将来、海外に行きたいので、この経験を生かして
いきたいと思います。また、高校や今の英語の授業の時に活用したいと思います。



コミュニケーションが大事！

登別明日中等教育学校 1 回生 山口 いのり

私がデンマークでの研修で学んだことは、たくさんの人とコミュニケーションをとることです。

行きの飛行機でとなりに座っていたオランダ人の女の子がいました。まったく知らない方なので自分からは話しかけられませんでした。その時にその女の子から英語で「日本人ですか。」と聞いてきました。そして話してみるとすぐに仲良くなりました。山口県に少しの間留学していたようで、簡単な日本語を喋れていました。飛行中は、ミニゲームをしたり、連絡先も繋げることができました。嬉しかったです。

デンマークのリングにある森の幼稚園へ訪問しに行ってきました。いろんな遊びをしている子ども達にたくさん声をかけてみました。声をかけてみると英語がまだ喋れなく、デンマーク語でしか会話していませんでした。私は、デンマーク語は喋れないので戸惑いました。いろいろ説明してくれましたが、まったく分かりませんでした。ですのでジェスチャーで伝えてみました。すると相手もがんばってたくさんのことを教えてもらいました。とても優しかったです。



ホームステイ先の子どもにたくさん質問することが出来ました。例えばトランプをしていて順番を決める時にじゃんけんをしなくてはなりません。そしてデンマーク語のじゃんけんを教えてもらいました。

他にも、犬や学校などをデンマーク語に変換して教えてもらったりしました。そして日本語も教えてみましたが、難しそうでした。

私はデンマークの研修を通してたくさんの人とコミュニケーションをとることを学びました。

たくさんの人とたくさん関わることで私も相手も世界が広がると思います。

とても思い出に残る最高に楽しい研修でした。



最高の思い出

登別明日中等教育学校 2 回生 竹田 耕太郎

デンマークで過ごした日々は、一生の思い出です。

デンマークに行く前僕は、とても不安でした。初めての海外であり、飛行機に乗るのも約6年ぶりだったからです。前日の夜は全く寝られませんでした。そして当日、僕たちは新千歳空港→羽田空港→ヘルシンキ空港→コペンハーゲン空港という航路で行きました。機内泊は飛行機の音がうるさくて全然寝られませんでした。

着いて1日目にはオーデンセ市内を見学しました。その後にホストファミリーと初めて会いました。緊張したけれどみんなとても優しくかったです。しかし、話しかけられなかったのが今でも後悔しています。

2日目はホストファミリーと一緒に買い物に行きました。人生初マックでした。

3日目はリズィさんのお家（老人ホーム）と森の幼稚園に行きました。どちらも学びになりました。それからパーティみたいなものがあり、7時くらいまで遊びました。

4日目はリングフリー校の授業を受けました。ドイツ語の授業だったのですが何も分かりませんでした。その後はイーエスコー城に行きました。迷路やトランポリンがありました。イーエスコー城内はとてもきれいで食器や銃などたくさんの物が置いてありました。



5日目はレゴランドに行きました。人が全てレゴで作られていて面白かったです。また、レゴランド内には、ジェットコースターがあり途中で止まって急に降下したのでびっくりしました。また、水がかかるアトラクションもあり、びしょびしょになりました。その後はお別れパーティがありました。みんなで串カツを作りました。その後ダンスと歌をしました。どちらも大成功でした。その日の夜は悲しくなると感じていましたが、不思議と寂しくありませんでした。

6日目は別れの日でした。車の中では特に話しませんでした。ホストファミリーのアスビョンは元気でした。途中までは寂しくなかったのですが、もう会えないと思うと号泣してしまいました。人生で一番号泣しました。電車に乗った後も5分間くらいは

男子メンバーで泣いていました。

その後はコペンハーゲン市内を歩き回りました。10kmくらい歩いてへとへとになった後にチボリ公園に行きました。楽しかったけれどその頃の僕たちの口ぐせは「ホストファミリーとここに来れたら…」でした。チボリではチケットがキャッシュレスでしか払えないというハプニングはありましたがとても楽しかったです。

7日目に僕たちはデンマークを去りました。去るときにも泣きました。機内泊では疲れていたようですぐに寝れました。

日本に帰って来て初めに感じたことは「暑さ」です。デンマークより10度くらい暑くてびっくりしました。デンマークは移住したくなるくらいよい国でした。

今回の研修は初めは「めんどくさい」と思っていたのですが本当に楽しくて最高の研修になりました。いつかまた絶対にデンマークに行きます！



引率者報告書



デンマーク王国 ミッドフュン ギムナジウムにて

令和5年度登別市デンマーク友好都市中学生派遣交流事業を終えて

派遣団団長 秋葉 洋範

8月7日(月)

いよいよ出発の日、新千歳空港へ向かう前に、小笠原市長から、ファボー・ミッドフュン市の市長宛の親書を預かった。引率する子どもたちの安全と成長を第一に考え、準備を進めてきたが、親書を預かった時から、これまで登別市とデンマークが強く結びついてきたこと、これからの姉妹都市交流へつなぐ大事な役割であることを強く感じた。この日は、雨の降る中であつたが、バスに乗る際、子どもたちの家族や学校関係者、市役所の職員の方が何十人もいて驚いた。ここでもまた、本事業がとても重要なものであることを感じ、責任の重さを感じた。

8月8日(火)

これからお世話になるリングフリー校の校長先生であるアネさんとその生徒たちと合流するまでに、登別を出発してから30時間以上経っていた。疲れはピークであつたが、リングフリー校の人たちと会った途端、登別の子どもの表情が笑顔に変わった。総勢20名以上で、アンデルセン博物館へ向かった。博物館見学後、アンデルセンの生まれた家やアンデルセンがつくった学校などを案内してもらった。アンデルセンは童話作家で有名なのかと思っていたら、街の名手であり、今も尊敬されていることがわかった。横断歩道の信号機の点灯する部分に描かれている人のマークもアンデルセン、後に訪れたレゴランドでもレゴでできたアンデルセンがいるほどである。

デンマークに着いてから数時間しか経っていないが、恵子は、電車内でもリングフリースクールの生徒たちとも積極的に英語での会話にチャレンジしており、コミュニケーション力に感心した。

私と舘崎先生と耕太朗は、アネさんの家に泊まることになった。家は、リングフリー駅から電車で一駅隣の街にあつた。アネさん家族の構成は、夫のトーベン、息子のアスビョン、犬1匹、猫1匹であつた。私は庭にある離れのコテージで寝ることになった。アネさんの家にはバスルームの他に外にシャワーがあり、私はそこを使うことにした。真夏なのに気温は11度と寒かつたが、しばらくシャワーを浴びていなかったため大変気持ちよかつた。移動の疲れもあり、その日はたくさん寝た。

8月9日（水）

朝からリングエにある幼稚園を訪問した。そこには、45人ほどの園児がいた。日本のおとぎ話が英語に翻訳された本をお土産に渡すと大変喜んでくれた。葵生は幼稚園児と一緒に走り回り、奏多はブランコを揺らしてあげ、いのりはおとなしい子を見つけて一緒にお絵かきをするなど、9人それぞれの性格などが良く表れていた。その後、登別との交流を深め、今年叙勲を受章したリズィーさんが住んでいる住宅を訪問した。登別市、北海道、叙勲の表彰状が飾られており、大変うれしそうに紹介してくれた。午後、ファボー・ミッドフェン市の市長を表敬訪問した。市長から町のことやデンマークについて丁寧な説明を受けた。あちこちで見られる風車による風力発電一つで6,000戸の電気を賄っていること、デンマークでは少子高齢化が進んでいるが、ウクライナや他国からの移民を受け入れ、彼らの労働がデンマークにとって助かっているが自国へ戻ったときにその家族の子どもたちが母国語を忘れていないかなどを心配していること、日本と同じくコロナ禍後に不登校が増えていること、生活リズムが変わってきていることで学校の始業時間を9時からにするところも出てきているなど、国の問題、国際問題、教育問題について幅広く教えてくれた。子どもたちも何人か質問していて、立派であった。舘崎先生が1時間びっしりと通訳をしてくれた。専門的な話題も多い中、大変だったと思う。さすがだと感心した。

8月10日（木）

朝8時にリングエフリー校へ行き、就学前の子どもたちのお世話などをした。昨日よりも積極的に人とかかわろうとする姿が見られた。その後、スベンボーという観光地へ行き、子どもたちだけで町散策をしたり、ショッピングしたりと楽しんだ。観光後、リングエに戻った。この日はデンマークの学校の始業式の日で、リングエフリー校に着くと子どもが200人、その親などが300人ほど集まっていた。ホールに集い、いくつかの歌を大人も子どもも交えて全員で歌った。その中には、「さくら さくら」の歌もあり、これまでの登別市とリングエフリー校の交流が長年続いていることを実感した。その後、校庭で家族ごとにレジャーシートを敷き、お弁当を食べたり、学校が用意したケーキを食べたりした。学校の一角には新年度のスタートにあたり、運動着や靴を販売するコーナーもあった。大人たちは会話を楽しみ、子どもたちは思い思いに遊んで過ごしていた。リングエフリースクールの保護者たちは気兼ねなく話しかけてくれて、ありがたかった。イベントは19時頃終了し、家に帰った。

20時30分頃、アネさんが家の近くの城跡まで連れて行ってしてくれた。かつて、この辺りがとても栄えていたことを教えてくれた。耕太郎は毎日引率者の私たちが側にいるため、一番様子がわかるのだが、英語で会話をするが増えたり、

周りの様子を見て動こうとする気配が増したりするようになった。

家に戻り、デンマークの学校事情と日本の学校事情についてアネさんとトーベンと夜中まで語り合った。デンマークでは週 32 時間の勤務時間であるが、日本と同じく病休や休職になる先生が増えていること、不登校の子どもたちが増えてきていることなどを知った。日本と似た状況であり、最近の世界共通の問題なのかと感じた。

8月11日（金）

朝8時から全校朝会が始まった。事前にプレゼンテーションの打ち合わせをする間もなく、本番が始まった。朝一番であり、いきなり大勢の人の前での発表ということもあってか、子どもたちの歌声があまり出ていなかった。そんな中でも、仁湖は、ピアノ伴奏の練習を相当してきたようで、今までで一番上手に演奏した。演奏後晴れやかな表情をしていた。美月のナレーションは顔にも声にも感情がこもっていて、とても聞きやすく素晴らしかった。葵生は、篠笛で「さくらさくら」を独奏し、みんなが聞き惚れた。その後、校内見学とドイツ語の授業に参加した。デンマークの子どもたちは、授業中質問に答えるときには、日本と異なり、手を上げずに人差し指を立てていた。

午後、マリパークニクスのモデルとなったイーエスコー城へ向かった。イーエスコー城に向かう車の中で、「城の屋根裏に人形があり、その人形を動かすと城が崩れるという言い伝えがある。」と聞き、その人形が本当にあるのか確かめてみようと思った。イーエスコー城は今まで私が訪れたいくつかの城と違い、敷地の中にアスレチックや博物館などが点在し、1日遊べるようになっていた。子どもたちは最初自由に散策し、その後みんなでイーエスコー城へ入った。豪華な内装に子どもたちは驚いていた。この城は歴代のお金持ちの屋敷として使われていたようだ。お城は池の中に建っており、傷まないのか心配になった。階段を上っていくと屋根裏にたどり着いた。屋根裏には予想よりも大きく、1メートルほどの身長の子の男の子の人形が置かれていた。不気味な感じであった。人形の周りは囲まれており、近づけないようになっていた。

8月12日（土）

8時30分に学校に着くとすでに全員集合していた。子どもたちが楽しみにしているレゴランドへ貸し切りバスで向かった。2時間ほどで、レゴランドに到着した。園内は想像以上に広く、北極やゴーストなどのテーマごとの場所にわかれており、それぞれのテーマに沿ったアトラクションが充実していて、まるでディズニーランドやUSJのようであった。子どもたちは大はしゃぎで楽しんだ。璃空はレゴランドに来るのが一番の目的であったので、大変良い笑顔でアトラク

ションなどを満喫していた。

17時頃リングフリー校に戻り、お別れパーティーの準備を始めた。すでにリングフリー校の保護者や子どもたちはお別れパーティーのための料理や会場の準備をほぼ終えていた。私たちは台所を借り、一口サイズのカツづくりに取りかかった。留唯が大変手際よく調理をしていて感心した。18時からパーティーが始まった。ハンバーガーやホットドッグなどがおいしかった。私たちが作ったカツも好評で、あっという間になくなった。

実は、ちょっとしたハプニングもあった。調理中、発表で使うCDをかけてみようとしたが、CDプレーヤーから音が出ない。近くの高校に勤務する保護者から急遽、高校のスピーカーを借り、ネット上の音源をかけて対応することとしたが、鬼踊りの音源だけが見付からない。日本では夜中であることを重々承知しながら、企画調整Gにラインで連絡したところ、原田さんが気付いてくれ、鬼踊りの音源データを転送してくれた。鬼踊り開始の直前の出来事であった。

子どもたちの発表は気持ちのこもったもので素晴らしく、感動的であった。見ていた人たちもたくさん褒めてくれた。子どもたちはうまく発表できたことで、緊張の糸が切れたように、一気にそして今まで以上に現地の子どもたちと打ち解け、交流を深めるとともに、翌日の別れを惜しんでいた。

8月13日（日）

お別れの日である。朝食を食べるときにアネさんファミリーからプレゼントをもらった。「いよいよお別れだな。」と感じた。駅では私たちを見送るため、ホストファミリーが総出で集まっていた。ほぼ全員が号泣するほど感極まっていた。電車の中でも子どもたちはしばらく泣き続けていた。

別れの余韻に浸りながらコペンハーゲン駅に向かった。到着後、ホテルに行き、荷物を預け、私たちだけで市内観光を始めた。中心部の大きな広場でリングを出発する前にもらっていたホットドッグをみんなで食べた。次に、ニューハウン、人魚姫の像、お土産街で観光を楽しんだ。こちらに来て初めて、自分たちのペースでゆっくりと動いた。ホテルに戻って来るともう18時頃で、買ったお土産や預けていた荷物を部屋に置いたらすぐに、チボリ公園に向かった。チボリ公園で入場料を払い、中に入ったが、ここでもちょっとしたハプニングがあった。乗り物ごとのチケットはクレジットカードでしか買えず、現金で買えるのは乗り放題券のみであった。時間の許す限り乗り物に乗り、閉園の22時近くまで思い思いに楽しんだ。

8月14日（月）

子どもたちはこれまでの疲れのためか、朝食の時間に何人も間に合わず、起こしに行くなど、バタバタしたスタートになった。9時にチェックアウトし、いよいよ日本へ向けて出発した。コペンハーゲン空港のチェックインカウンターは1つしか開いてなく、また、行きの時とは違い、荷物を一度羽田空港で受け取ることになった。

いずれにしても、これだけのハードスケジュールをこなした後であることと日本に帰りたくないという気持ちが強く、子どもたちは終日、ぐったりしていた。

8月15日（火）

長い移動時間であったが、登別に無事付いたのは午後8時過ぎであった。子どもたちは、家族の顔を見てほっとしているのが伝わってきた。

派遣を終えて、

この派遣事業で一番心に残っているのは、「人とのつながりと心の温かさ」である。「企画調整Gの皆さんが自分事のように事前準備から帰国報告会まで親身になって対応を進めてくれたこと」「デンマークの人たちが私たちが心から歓迎してくれたこと」「子どもたちが派遣をとおして、派遣者同士はもちろん、デンマークの子どもたちとの絆を深めたこと」「これまでにデンマークを訪れた引率者や生徒たちが良好な関係を長年築いてきたことが、今回の現地での好意的な対応につながっていること」などを強く感じた。

本事業にかかわった全ての人に感謝するとともに、私も「人とのつながりと人を大切にすること」を今まで以上意識して過ごしていきたい。ありがとうございました。



デンマーク派遣交流を終えて

登別市立鷺別中学校 館崎 美久

今回、中学生派遣事業の引率者として、9名の団員、そして団長とともにデンマークでの生活を体験してきました。団員たちの中には、海外への渡航が初めてという子も多く、英語を話せるかどうかとても不安という顔で出発したのを覚えています。自分の意思を相手に英語で伝えることというのは非常に難しいものです。ホストファミリーとの生活でも、無理をしてしまうのではないかととても心配していました。しかし、現地の子どもたちと初めて会ったとき、緊張はしているものの自分たちが持っているスマートフォンを見せ合いながら会話をしている姿には衝撃を受けました。初めて会った子とこんなに話せることに驚いたからです。その後も私が想像したよりもずっと上手に子どもたちとコミュニケーションをとり、どんどんホストファミリーとの生活に馴染んでいきました。同じ年頃の子どもたちと一緒に過ごす中で、お互いの好きなものを写真で見せ合ったり、日本にもあるゲームを一緒にやったりと、現代社会だからこそその方法で団員たちは仲良くなっていきました。リングの町を離れる時にはお互いの SNS を通じて連絡を取ろうと約束しあった子どもたちも多かったようです。



親元を離れ、遠い異国の土地にいる団員たちがこんなにも積極的に感じていることや考えていることを伝えようと頑張っていたのは、共通語としての「英語」が伝わる楽しさを知ったからだと思います。

私たちと現地の人とでは、母語が異なります。母語だけでは、意思を通じ合うことは困難に近いですが、共通語の英語を通せばコミュニケーションをとることができます。全く知らない相手が同じ言語を話せることを知るだけで、その人が前よりもずっと近い人へと感じるのです。そして、その近い人が自分たちの学校で習ったものを理解してくれる。普段の学校での生活が役に立ち、なおかつ自分が話したことが相手に通じた。団員たちにとってこれほど嬉しいことはないと思います。この気持ちが今回の派遣で英語を使う原動力になったと思います。団員たちは、わからないことがあればすぐに聞いたり、

自分で調べたり、そしてそれを相手との話すきっかけとしたりと自ら主体的に会話をしていました。今回の派遣を通して、日本にいたときよりも英語という言語に慣れ親しんだことでしょう。そして、英語を積極的に活用し相手と通じ合うことができれば、自分自身の視野が広がるということにも気付いたと思います。例えば、デンマークと日本の違いを教えてもらって理解し、日本の将来がどのようなものになるのが良いのかと考えるように。

学び続けることに終わりはありません。これからも団員たちが自分の力で考え、学び、成長し続けるようになってくれば、英語科の教員としてこれほど嬉しいことはないと思います。私自身も、この体験を通して、今回の団員たちのような自主的に、そして積極的に相手と交流する子どもを育てていくことが今後の目標となりました。

最後になりますが、今回このような貴重な体験をさせていただき、小笠原春一市長、安宅錦也教育長を始め、事前・事後研修において、多大な準備と指導をさせていただき、登別市総務部企画調整グループの皆様、そして、困ったときにはいつでも相談に乗ってくださり、温かく見守ってくださった秋葉団長に、心より深く感謝申し上げます。

ご縁があり、こうして貴重な機会を一緒に経験することができた団員の皆さん、これからも君たちの学びは続いていきます。この経験を忘れることなく、自分たちの新しい一歩への糧として、今後の生活でも人と人とのつながりを大切に、他者に優しく、愛情に満ちた人生になることを心から願っています。

帰国報告会資料 (派遣生徒)

※帰国報告会に向け生徒が実際に作成し、使用したスライドをそのまま掲載しております。

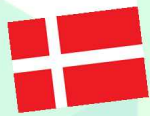


2023.9.29 帰国報告会にて

帰国報告会



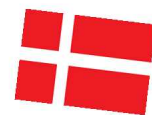
令和5年度
登別市デンマーク友好都市中学生派遣事業



派遣研修報告

令和5年度

登別市デンマーク友好都市中学生派遣交流団



デンマークの歴史について



登別市立緑陽中学校1年 宮崎 葵生

登別市立緑陽中学校1年の宮崎葵生です。これから私たち派遣団がデンマークで調べてきたそれぞれの研修テーマについて発表します。
僕が調べてきたことはデンマークの歴史を調べてきました。

1, イーエスコウ城

イーエスコウ城は1554年建築された。

公園の中にはクラシックカー車博物館があり、

そこは1967年にオープンした。



まずイーエスコウ城は1554年にけんせつされていて今までにいろんなひとが
住んできたようです
城の中には城主の絵が飾ってあったりしていました
さらに今ではないようなトラの毛皮ややりなどがありすごかったです
公園の中には車の博物館あったそうです

ちなみに公園は1986年から一般公開されている。

お城には遊具や迷路などがあり

お城以外も楽しめた。

中にはゴーカートがあり楽しかった。



2, アンデルセン

アンデルセンは1804年4月2日生まれ。

彼の家は貧しく1つの部屋にみんなで一つの部屋に寝ていた。

アンデルセンは切り紙が得意でよく親戚の子供などにあげていた。



アンデルセンは歌うのが好きでよく大聖堂で歌っていたらしい。

その後色々な本を書いていき、
アンデルセンは70歳のときに亡くなった。



ヴァイキングとは

昔北方にいた海賊。

3, ヴァイキングのこと

デンマークにヴァイキングはいてデンマークといえばヴァイキングらしい。

それにデンマークの人の大半はご先祖様ヴァイキングだったらしい。



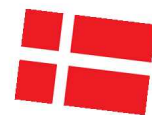
ありがとうございました

ホストファミリー↓



デンマークのみんな↓





デンマークの流行について



登別市立緑陽中学校3年 中村 留唯

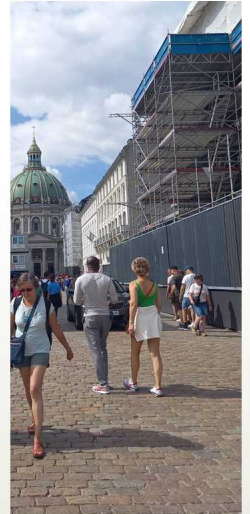
きっかけ

- ・デンマークの流行が日本と何か違いがあるのか
知りたかったから
- ・どんなものが流行っているのか調べたかったから

調べようと思ったきっかけは、（スライドを読んで）のこの2つです

ファッション fashion

- ・肌を出す服が多い
- ・涼しめな服
- ・楽で合わせやすい
- ・おしゃれ



まず1つ目はファッションです。

デンマークでは、季節が夏ということもあり、肌を見せる服を着ている人が多かった印象です。

タンクトップやシースルーのシャツなどの涼しめな服が流行っていました。

ハーフパンツやショートパンツを履いていました。

また、カーゴパンツも流行っています。トップスは何を合わせてもほとんど似合うので、楽で人気のファッションです。

この服は、韓国や日本などたくさんの国でも人気のボトムスです。

食 food

- ・お米じゃなくてほとんどパン
- ・野菜がそのまま出てくる



- ・スクワッシュ



次に食です。

デンマークでは、お米ではなくパンが食べられています。スライスしたトーストにバターや板チョコ、サラミのハムなどをのせて食べました

夜はお肉（豚肉）やスパゲッティのような麺料理が出ました。

おかずには、野菜とチーズを混ぜたスクワッシュを食べました。私はこれが一番好きでした。

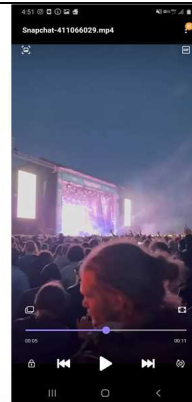
どれも本当に美味しかったです

音楽 music

・アンドレアス

→デンマーク出身、男性アーティスト

→ライブも多数開催されている



←ライブ

・K-POP

→BTS、BLACKPINK、Stray Kids など人気

Stray Kids⇒



最後に音楽です。

デンマークでは、アンドレアスというデンマーク出身の男性アーティストが流行っていて、ライブも開催されています。

実際にホームステイ先のイーダという子の一家は、ライブに家族みんなで行っていました。

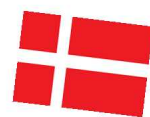
この写真がそのライブの様子です。ライブ会場が広く、大勢の人が音楽にのって歌を歌ったりしていました。

また、デンマークでもK-POPが流行っています。私はK-POPが好きなので、どこのグループが好きか、そのグループの中の曲でどの曲が一番好きかなどを話しました。私が話していたなかで出たのは、BTS、BLACKPINK、Stray Kidsなど、他にもたくさんのグループが人気でした。

感想

- ・今回の派遣では、本当によい経験になった場面もたくさんあって、英語で話す ことも元々抵抗はあまりなかったけど、完全になくなったと感ずることができた
- ・現地の人との会話で出てきた、自分が知らない単語やわからない単語をすぐに 調べるようになったのは成長だと感じた

今回の派遣の感想は（スライドを読む）
これで私の発表を終わります



デンマークの「食」について



登別市立緑陽中学校3年 多田 美月

デンマークの食。

今回の研修では、デンマークの食について調べてきました。事前研修で野菜を生のまま食べると聞いていて、どのような食文化をしているのだろうと気になり、このテーマにしました。

朝ごはん



まずは朝ごはんの紹介をします。

朝ごはんはトーストが主に出てきました。トーストには、はちみつと、プラムジャムと、ヌーテラというチョコレートと、ポレーグショコレウという板チョコをパンの上のにのせて食べるのが主流です。ポレーグショコレウはデンマーク語で、ポレーグが「上に乗せる」ショコレウが「チョコレート」と言う意味だそうです。私ははちみつとプラムジャムがとても美味しくて好きでした

デンマークの伝統的な料理



次に、デンマークの伝統的な料理を紹介します。
こちらはミートボール、赤キャベツ、じゃがいも、グレービーソース添えて、じゃがいものブラウンソースとフィッシュボールとレッドキャベツです。こちらの写真は、ローストウサギのポテトと、グレービーソース添えて、じゃがいもにブラウンソース、赤キャベツ、さつまいも、野菜、ローストウサギです

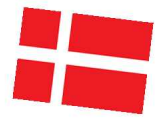


こちらの写真は、ローストポーク、レッドキャベツ、ポテトとグレービー添えで、じゃがいものブラウンソース添えと豚肉とサラダで、デンマークの人々は、クリスマスイブに食べるということです。

まとめ

- ・豚肉
 - ・じゃがいものグレービーソース和え
 - ・赤キャベツ
- などなど...

これらの写真からデンマークの人々は、豚肉、じゃがいものグレービーソース和え、赤キャベツ、他にも野菜や、鴨肉、ポテトチップスなどを主に食べていることが分かります。ですが、デンマークでもイタリアのピザや日本の寿司などのように他の国の食べ物をたくさん食べるようです。このように私達が日々食べている日本食はデンマークでもとても人気なのです。これで私の発表を終わります。ありがとうございました。



デンマークの建物について



登別市立鷺別中学校3年 佐藤 璃空

デンマークの建物 ～素材～







デンマーク建物 ～大きさ～



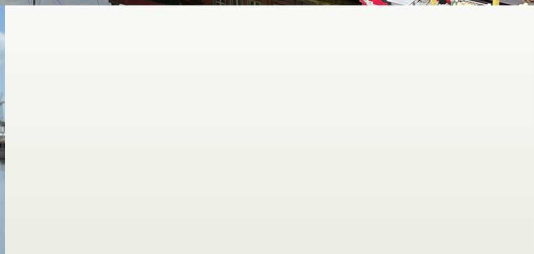




日本の家との比較



心に残った建物

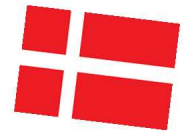






ご清聴

ありがとうございました



学校の違いについて



登別市立鷺別中学校3年 相澤 仁湖

今回私は、日本の学校の違いに興味を持ち研修を行いました。

リングフリー校

- ・6歳～16歳
- ・午前8時登校
- ・午後3時頃下校



私達がいったリングフリー校には、6歳から16歳までの子どもたちが通っています。登校時間は8時で、6～7時間授業を受けたあと3時頃に下校するのでそこは日本と変わらないです。



教室はこのようになっています。

教室の違いについて

	JP	DK
机や椅子	木製	プラスチック製
スマホ使用	×	○
飲食	×	○

教室の椅子は高さが調節でき、机は木ではなくプラスチックでとても高さがあるものでした。私達はそこでドイツ語の授業を受けました。DKとドイツは近い国同士なのでドイツ語の勉強もしているそうです。実際にみんなと問題を解いてみましたがドイツ語は主語によって動詞の形が変化するので私はとても難しいイメージがありました。休み時間にはスマホの使用や飲食も自由にできることなどから教室にいてもあまり重苦しさを感ぜませんでした。このような点から日本との違いを感じることができました。そして私が一番驚いたのは子どもたちが楽しめる設備がたくさん揃っていたことです。



学校の敷地内には写真のような日本では見たことのない遊具がたくさん揃っていました。

学校の設備の違いについて

	JP	DK
体育館	バスケットゴール、 ステージのみ	巨大なトランポリン、 トレーニングジムなど

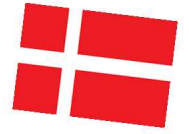
体育館は私の学校の二倍ほどありそこには巨大なトランポリンやトレーニングジムなど色々なものが揃っています。私達も実際にそこで遊びましたが日本では施設へ行きお金を払わないとできないようなことを学校でできると思うとすごく羨ましかったです。

まとめ

全体的に自由でみんなが
のびのび成長できる
環境が整っていました



このようにリングフリー校は日本の学校よりも全体的に自由な明るい雰囲気
で一人ひとりがのびのびと成長できる環境が整っている学校だなと感じまし
た。機会があればぜひまた行きたいです。



デンマークの 家庭で飼われているペットについて



登別市立鷺別中学校3年 菊地 奏多

デンマークのペット(犬種)

{大型犬}

- ・黒い犬(イタリアン)
- ・ゴールデンレトリバー
- ・中型犬: 柴犬がいた!



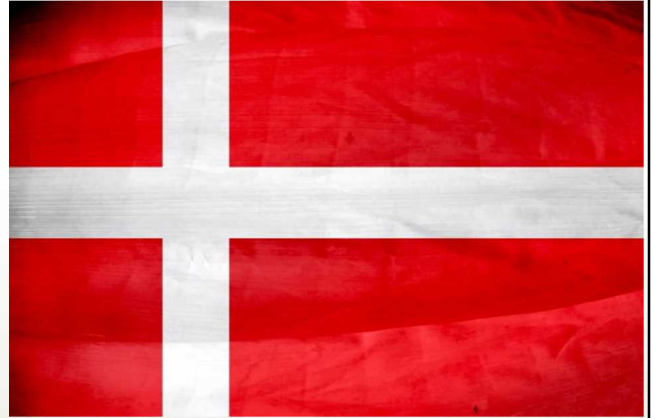
その他

・兎(ボニー)を飼っているひとがいた,猫を見かけなかった。



デンマークに行った感想

- ・海外の人と話すことが楽しかった。
- ・海外の人と仲良くなって嬉しかった。
- ・正直緊張した。
- ・一緒にサッカーをした。

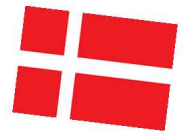


デンマークで学んだこと

- ・街の様子や歴史を学んだ。
- ・アンデルセンの事を学んだ。
- ・家庭で飼われているペットを調べた。



デンマークの アートとデザインについて



北海道登別明日中等教育学校1回生 山口いのり

-1. 街並み

-2. 城

-3. 配慮

町並み

・日本よりも建物などがカラフル
↳昔、誰の家か分かりやすくするために
いろんな色が使われていたから

・首都であるコペンハーゲンにある
セブンイレブンのデザインが虹色



城 イーエスコー城

イーエスコー城

登別マリンパークのメイン城がモデルとして使った

- ・鹿の頭や、実際に使われていた道具などが展示されていた
- ・日本に比べて城が多かった



配慮

- ・森のようちえんにあった、ドアのドアノブが
高い位置にあった
- ↳子供たちが自分で外に出られないように



配慮

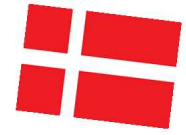
- ・AEDが外にあった
↳外で倒れてしまった人をすぐに助け
ることができるから



まとめ

- ・デンマークは個性的なアートやデザインでした。ですが、使いやすさを重視していると感じました。
- ・昔のひとの細かい感情が表現されていて歴史があると思いました。

デンマークと日本の 食文化の違い



北海道登別明日中等教育学校2年生 竹田 耕太郎

皆さんこんにちは 登別中等教育学校2年竹田耕太郎です。私はデンマークと日本の食文化の違いについて紹介します。まずは、朝の食事についてです。

一日の食事について

朝(日本)
ご飯などバリエーション
様々



日本の食事はご飯 味噌汁 魚など様々な種類があります。

朝(デンマーク) 毎日パン



続いてデンマークの朝食です。毎朝パンでした。パンは白いパンではなくパリパリしているパンで少し固めでした。日本とは違いましたが、とても美味しかったです。次に昼ごはんです。

昼

日本の弁当

おかずがたくさん入っていて
弁当箱をもたせる



日本の昼ごはんは弁当箱におかずやお米が入っています。次にデンマークの昼ごはんについてです。

昼

弁当(デンマーク)

サンドイッチと野菜と
果物が多い



デンマークの昼ごはんは、日本のような弁当箱に入っているのではなくサンドイッチが昼ごはんでした。また、ニンジンやりんごがまるごと入っていました。次に夜ご飯についてです。日本の夜ご飯は

夜

日本

ご飯とおかず



ご飯とおかずという組み合わせが多いと思います。デンマークの夜ご飯は

夜

デンマーク

野菜が多く、

白米は出ない



野菜がまるごと出て、白米は出ませんでした。おかずは鶏肉や鮭が出ました。私は野菜が苦手なので食べる勇気が出ませんでした。一度食べてみるととても美味しかったです。

おまけ

夜食（ケーキ）



おまけです。デンマークで夜食が出ました。ケーキが出たのですが人生で一番甘かったです。甘党にはおすすめできます。次に飲み物です。

飲み物

炭酸水が大半



デンマークの飲み物の大半は炭酸水でした。デンマークで初めて炭酸を飲んだのですが、刺激がとても強かったです。最後にデンマークのお菓子について紹介します。

お菓子

ラクリス

味がとても独特



これはラクリスというお菓子で、独特な味がします。私は苦手でした。甘い物もありそのラクリスなら美味しく食べれました。

～最後に～

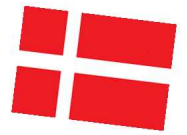
貴重な経験をさせていただき本当に
ありがとうございました。

最後に貴重な経験をさせていただき本当にありがとうございました。今回の
デンマーク研修をこれからは続けていきます。

ご清聴ありがとうございました

ご清聴ありがとうございました。

日本とデンマークの違い



登別市立緑陽中学校3年 皆川 恵子



in Denmark



日本とデンマークの違い



私のテーマは日本とデンマークの違いです。

もくじ

- ①学校の設備の違い
- ②始業式パーティー
- ③食文化
- ④街なかでの違い

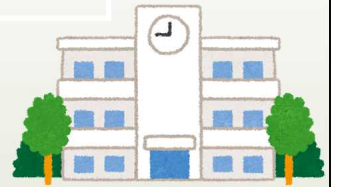


①学校の設備の違い

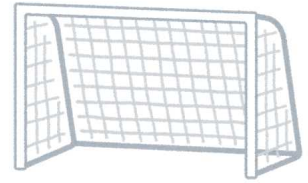
②始業式パーティー

③食文化

④街なかでの違い



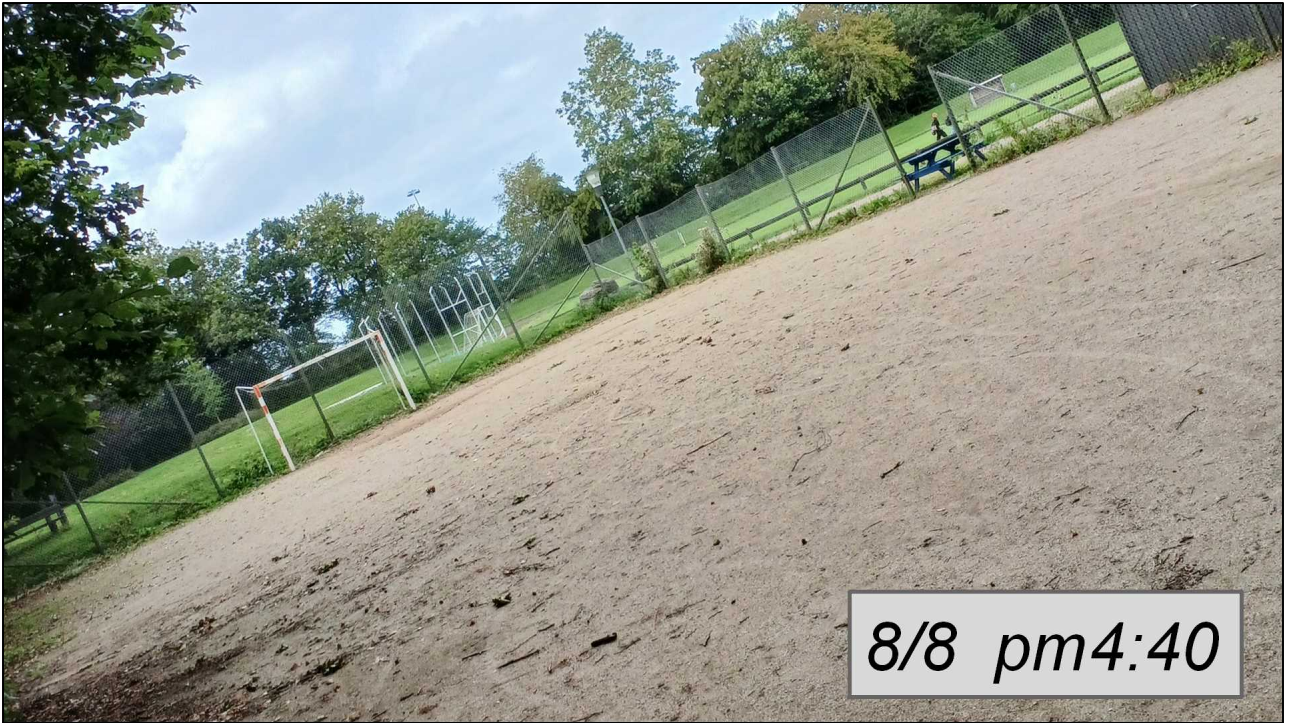
一番最初は学校の設備の違いについてです。



まずは、サッカーとバスケット！



その中でもまず、バスケットとサッカーについての違いです。

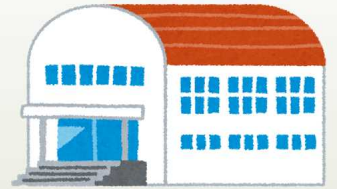


このように、日本と同じようにサッカーコート
はありました。



しかし、外にバスケットコートがありました。私の学校にはないので、こういったスポーツの取り入れも充実していることが分かりました。

次は、体育館！



次は体育館でのことです！



8/9 pm8:40

リングフリー校には、体育館が2つありました。
1つ目が、この体育館です。
この体育館では、奥に大きなトランポリンが2つ
ありました。
そして、写真には写っていませんが、ジムにあ
るようなマシンもあり、私の学校では見ないよ
うな体育館になっていました。



2つ目のこの体育館では、バレーやハンドボールをすることが出来て、観覧席も設けられていました。

デンマークでは男女ともにハンドボールが人気なスポーツらしく私のホストファミリーの子もハンドボールをやっていました。

日本とデンマークでは人気なスポーツも違うらしいです。

しかも、日本とは違ってステージがありませんでした。




①学校の設備の違い

②始業式パーティー

③食文化

④街なかでの違い



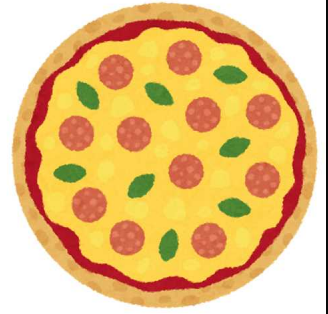
次は始業式パーティーのことについてです！



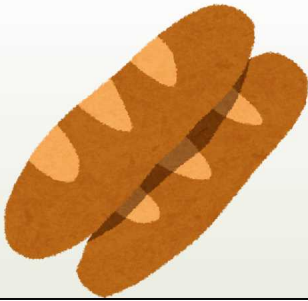
リンゲフリー校では、始業式の日には全校生徒とその家族みんなが学校に集まって夜ご飯を食べます！



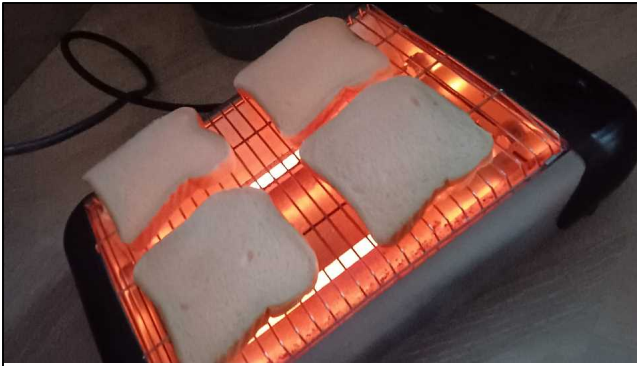
こういった取り組みのおかげで、親も子供も家族同士、みんな仲が良かったです！



- ①学校の設備の違い
- ②始業式パーティー
- ③**食文化**
- ④街なかでの違い



次は食文化での違いです！



朝食

8/10
am6:15



この写真のような日本でも食べる食パンや、見たことのないパンも食べました！



飲み物は主にジュースでした。

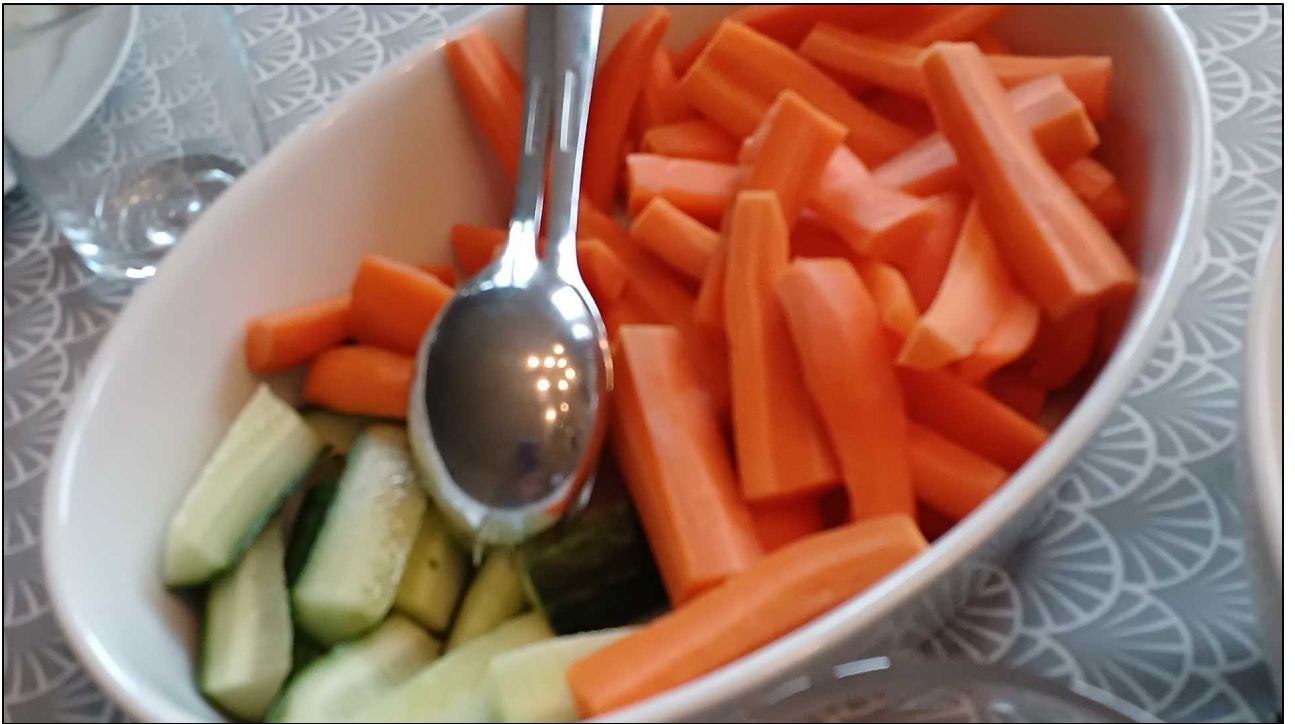


昼食は主にサンドイッチで生ハムや卵を自分で
トッピング！
そして、きゅうりやお菓子、果物も一緒に！

夜食



夜食では、カレーなどがありました。
他にもバーベキューなどもやりました。



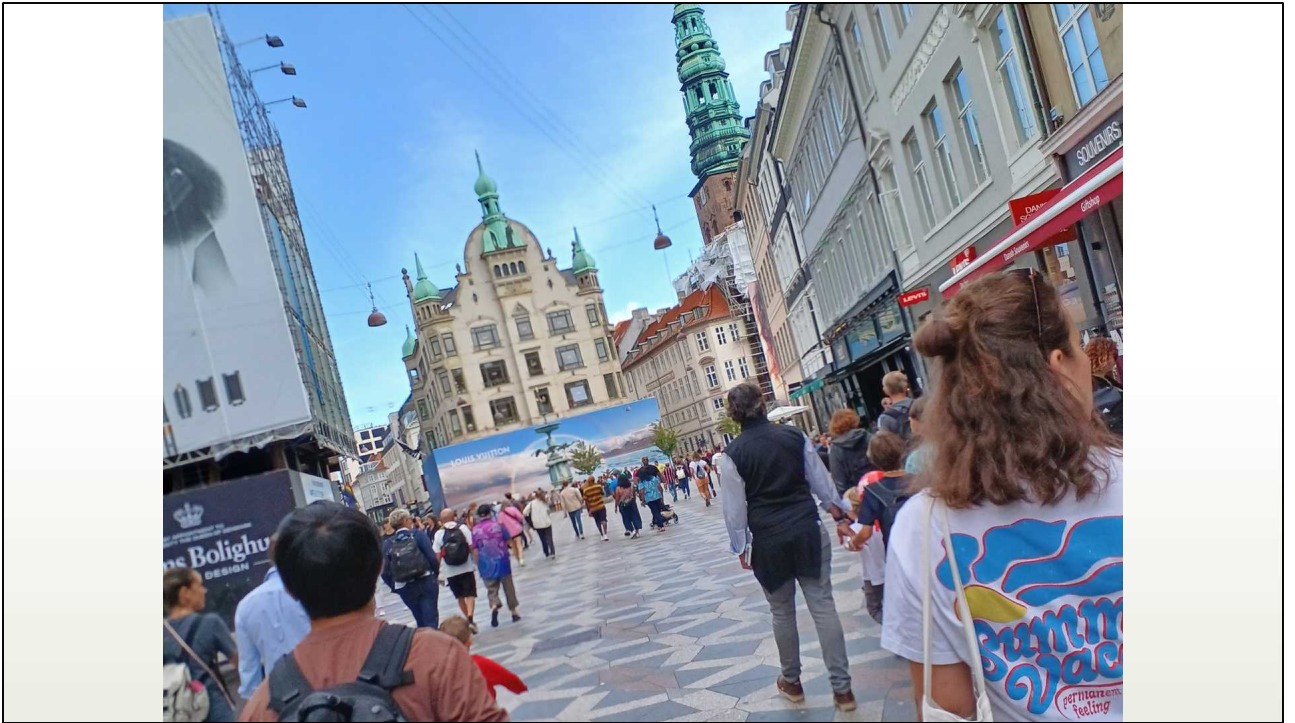
にんじんやきゅうりも出て、ドレッシング無しで食べました。最初は抵抗感があったけど、食べてみるとみずみずしく美味しかったです！



- ①学校の設備の違い
- ②始業式パーティー
- ③食文化
- ④街なかでの違い



次は街なかでの違いについてです！



地面は石畳で作られていることが多く、他にもこのような柄などが地面に使われていて、街中がとても美しく見えました。



街なかには双眼鏡のような面白い建物やモダンなお店も多く見られました。他にも宮殿のような教会もあり、とても美しかったです。

まとめ

今回の研修では色々な日本との違いを見つけることが出来ました。

ハプニングや嫌なことが起きても、最後にはみんなで協力して、楽しんで学ぶことが出来ました。

今回の研修では色々な日本との違いを見つけることが出来ました。

ハプニングや嫌なことが起きても、最後にはみんなで協力して、楽しんで学ぶことが出来ました。



お母さん、お父さん、市役所の人たち そして、市長！
今回、デンマークに行かせていただき、ありがとうございました。
あのような素敵な時間、思い出を作らせていただき
ほんとにありがとうございました！
最後にご清聴ありがとうございました！

ご清聴、ありがとうございました！



帰国報告会資料 (引率者)



デンマーク王国 リンゲ駅にて

令和5年度
登別市デンマーク派遣交流団
引率者プレゼンテーション

登別市教育委員会 学務主幹 秋葉洋範

登別市立鷺別中学校 教諭 舘崎美久

日本時間：8月7日（月）

- ・ 市長へ挨拶
- ・ 温かい見送り
- ・ バスでもわいわい
- ・ 羽田で迷子
- ・ 両替に四苦八苦
- ・ いざ13時間のフライトへ



登別  → 新千歳  → 羽田 

日本時間：8月7日（月）

- ・飛行機の席みんなバラバラ
 - ・いのり積極的に隣と交流
- SNSの交換も！！
- ・機内食は、ボロネーゼパスタとイングリッシュマフィン
 - ・北回り航路でかなり寒い
 - ・なかなか寝られない
 - ・ヘルシンキで朝食＋ティータイム
 - ・嵐の翌日でかなり揺れる





羽田 ☁️ → ヘルシンキ ☁️ → コペンハーゲン

現地時間：8月8日（火）

デンマーク到着

- ・約35時間で到着
（登別→ホストファミリー宅）
- ・あやこ電車で隣の人と積極的に
会話→仲良くなって写真も！
- ・カフェで子どもたちと出会う
- ・アンデルセン博物館
- ・ホストファミリーとリジィーさん
に暖かく迎えられ、リングエ到着



コペンハーゲン空港  → オーデンセ  → リングエ

現地時間：8月9日（水）

- ・幼稚園で子どもと遊ぶ
- ・昼食アクシデント
- ・リジーさん宅訪問
- ・ファボー・ミッドフェン市長表敬訪問
- ・図書館訪問→街を散策！
- ・カフェでティータイム
- ・体育館でトランポリン



リングゲ駅👤→リングゲ・フリー校👤→リジーさん宅👤→市役所

現地時間：8月10日（木）

- ・ こうたろう朝から大きなパンを食べる
→顔より大きくてびっくり！
- ・ 子どもたちと折り紙・ままごと
- ・ スベンボーへ、ショートトリップ
- ・ アクセサリーを楽しそうに見る
- ・ 始業式、さくらを一緒に歌う
- ・ 縦割り交流で絵を描く
- ・ 外でピクニック





リンゲ駅  → スベンボー駅  → リンゲ駅

現地時間：8月11日（金）

- ・ 全校朝会で歌・ピアノ・登別紹介
- ・ にこピアノがんばる
- キレイな音色にみんなうっとり！
- ・ みづきのスピーチ抜群
- 聞き取りやすさ抜群！
- ・ ドイツ語授業体験
- ・ イーエスコー城へ
- ・ あおい、飴を舐めて舌が青色に
- 美味しいアメでハッピーに！



リンゲフリー校  → イーエスコー城 

現地時間：8月12日（土）

- ・ 2階立てバスに乗り盛り上がる！
- ・ レゴランドたくさん楽しむ！
- ・ かなた大きいぬいぐるみをget
→小さい子に貸してあげる優しいところも！！
- ・ るい、トンカツを揚げるの上手！
→無事時間通りに間に合いました！
- ・ 鬼踊りピンチ、原田さん救世主



リンゲフリー校  → レゴランド

鬼踊りの様子！！



現地時間：8月13日（日）

- ・ 涙のお別れ
- ・ オーデンセで乗り換え5分
(奇跡的に乗り換え成功)
- ・ ホテルチェックイン鍵あかない
- ・ コペンハーゲン観光
- ・ 外のカフェは現金使えない
- ・ へりの海上訓練潮まみれ
- ・ チボリ公園乗り放題券高い



リンゲ駅🚉→オーデンセ駅🚉→コペンハーゲン中央駅

現地時間：8月14日（月）

- ・子どもたち疲れで朝寝坊
- ・朝はバイキングで好きなものを！
- ・コペンハーゲン空港トイレがない
- ・りく、出国手続きを行う

→さすがリーダー！バッチリ手続き
を行いました！

- ・出国



コペンハーゲン中央駅🚉→コペンハーゲン🇩🇰→ヘルシンキ🇫🇮

現地時間：8月15日（火）

- ・ムーミンコーヒーに行く
- ・ヘルシンキ空港で空港職員に話しかけられた
動揺
- ・バスケットフランス代表選手と一緒に
- ・機内食は、チキンのペッパー煮と
グリーンカレー
- ・帰国
- ・羽田で税関に時間を取られる
- ・日本食を楽しむ



羽田  → 新千歳  → 登別

まとめ

- ・登別とデンマークの架け橋
- ・英語が伝わることで自信がアップ！ どう言いますか？と積極的な姿勢も◎
- ・一人ひとりの成長

帰国報告会資料 (イベント)



2023.7.18 第4回事前研修にてランディさんご一家と

The image shows the flag of Denmark, which consists of a red field with a white Scandinavian cross. The cross is centered and extends to the edges of the flag. The text "デンマークイズ" is written in black, bold, sans-serif characters across the center of the white cross.

デンマークイズ

全部で六問あります
全問正解目指して
頑張ってください

それでは、スタート！

第一問

ニクス城のモチーフとなっている
城の名前は何でしょうか？

選択肢

①熊本城

②イーエスコウ城

③フレデリクスボー城

正解

②イーエスコー城

第二問

このハンバーグのような食べ物は何でしょう？



①バーガーズ

②フリカデラ

③デンバーグ

正解

②フリカデラ

第三問

何故、この椅子はこんなに高いのでしょうか？

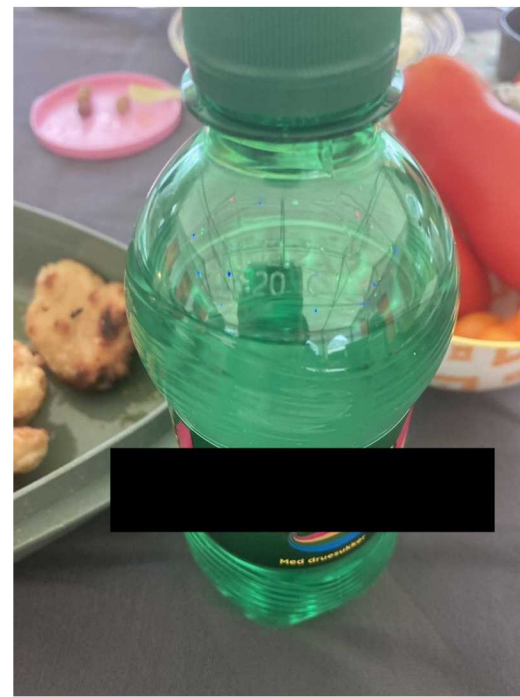


- ① 北欧の人はとても足が長いから
- ② 足が地面に着かず、疲れなから
- ③ 雪が降って丁度いい高さになるから

A. ③の雪が降って丁度いい高さ
になるから

第四問

デンマーク限定のこの
飲み物の名前は
何でしょうか？



選擇肢

① sweet water

② VOSS water

③ FAXE CONDE

正解

③ FAXE CONDE

第五問

デンマークにはいくつの島がある
でしょう？

①約600島

②約200島

③約400島

正解

③約400島

第六問

この空は何時に撮った写真でしょうか？



① 21:23

② 18:23

③ 4:23

A. ①の21:23

デンマーク語講座

皆川 中村 多田 相澤 山口 菊池

ありがとう！

Tak !

じゃんけん

グー → sten

チヨキ → sharks

パー → papir

ヌー → now

ごちそうさま

Tak for male

運転してくれてありがとう

Tak for du cladu miije

ご清聴ありがとうございました

Tak!

友好都市協定書

デンマーク王国リングゲ市及びウイスリングゲ市と日本国北海道登別市は、1997年に「友好の絆」を交わして以来、リングゲ・ウイスリングゲ・登別友好協会と登別デンマーク協会との両協会の活動を積極的に支援し、双方の市民の友好と相互理解を深め、友好交流を積み重ねてまいりました。

これらの交流は、両市民の文化・教育の面においても拡がりを持たせるものであります。

この度、リングゲ市、ウイスリングゲ市が近隣のまちと合併し、ファボー・ミッドフン市として誕生したことを記念する年になお一層両市の絆を強め、ファボー・ミッドフン登別友好協会（旧リングゲ・ウイスリングゲ・登別友好協会）と登別デンマーク協会の積極的な支援を継続するとともに、両市の相互理解と信頼のもとに市民交流、文化交流の推進を目指し、ここに友好都市協定を締結します。

平成19年(2007年)6月10日

The Establishment of Friendship Agreement

Since the signing on the Bond of Friendship between the municipalities of Ringe/Ryslinge and Noboribetsu City in 1997, our three cities have been positively supporting the activities of both the Ringe/Ryslinge-Noboribetsu Friendship Association and the Noboribetsu Denmark Association to deepen mutual understanding and build up friendship among our peoples, and the fruit of the activities has extended to cultural and educational fields.

According to the formation of the new Municipality of Faaborg-Midtfyn, both our cities will strengthen the ties of friendship even more, and continuously maintain the activities of both the Faaborg-Midtfyn-Noboribetsu Friendship Association and the Noboribetsu Denmark Association. Our goal is promote friendship and cultural exchanges based upon mutual appreciation and reliance.

In accordance with the above mentioned guiding principles, The Municipality of Faaborg-Midtfyn and The City of Noboribetsu will subsequently outline a more elaborate description of the fields of co-operation and how the goals of the agreement is best achieved.

We hereby give our signatures on the Establishment of Friendship Association.

June 10th, 2007



ファボー・ミッドフン市長
Mayor of Faaborg-Midtfyn
ボー・アナスン
Bo Andersen



登別市長
Mayor of Noboribetsu
上野 晃
Akira Ueno